

ユーザーマニュアル

---

CABALLERO  
**700**



**FANTIC**

## FANTICの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お買い上げいただいた車両の運転前に、このマニュアルをよくお読みください。本書には、車両メンテナンスや使用に関する情報、アドバイス、警告が記載されています。また、使用上のガイドがシンプルかつ明瞭に記載されています。このマニュアルを活用していただくことにより、お客様は新しい愛車に自信を持ち、末永く快適にご使用いただけるものと確信しています。

# 目次

---

ご挨拶	1
はじめに	7
製造元	7
シンボルマーク	9
一般警告次項	11
モーターサイクルのケア	11
一酸化炭素	11
燃料	11
高温のパーツ	11
エンジンオイルおよびギアボックスオイル	12
ブレーキフルード	12
バッテリー電解液と水素ガス	13
サイドスタンド	13
注意事項と一般警告次項	13
基本的な安全上のルール	15
運転と走行	15
服装	24
盗難防止のヒント	24
駐車	24
輸送	24
サイレンサー	25
サイドスタンド	26
車両取扱いに関する基本事項	27
車台番号	27

---

# 目次

---

メインコントロール	29
パネルコマンド	31
ダッシュボード	32
イグニッションスイッチ	46
ステアリングロック	47
ホーンボタン	47
ウインカースイッチ	48
ライトスイッチ	48
ハイビームフラッシュボタン	49
スタートボタン	49
エンジンストップボタン	50
ABSシステム	51
トラクションコントロールとアンチウイリー	53
シートオープン	54
給油	55
保管	56
洗車	57
<b>メンテナンス</b>	<b>59</b>
はじめに	59
予備点検	59
エンジンオイル	61
タイヤ	64
スパークプラグ	67
エアフィルター	67
クーラント	67
ブレーキシステム	68
サスペンション	70

# 目次

---

クラッチレバーとギアボックス	72
フロントブレーキレバー調整	73
チェーン	74
バッテリー	76
ヒューズとリレー	77
ライトとウインカー	78
リアビューミラー	79
<b>メンテナンステーブル</b>	<b>80</b>
メンテナンステーブル	80
推奨製品	85
<b>テクニカルデータ</b>	<b>87</b>
<b>適合</b>	<b>91</b>

このマニュアルは、車両の構成要素として不可欠なもので、車両を売却する際には必ず車両と共に引き渡す必要があります。

Fantic Motor社ならびにモータリスト合同会社は、記載されているモデル、仕様、および設計データを予告なしにいつでも変更、さらに変更する権利も有します。

本書および本書の一部はFantic Motor社ならびにモータリスト合同会社の承認なしに省略および翻訳することはできません。

弊社の許可なしにこのマニュアルの内容を複製することを禁じます。Fantic Motor社ならびにモータリスト合同会社は、本書の印刷ミスや落丁について一切責任を負いません。

## 製造元

**FANTIC MOTOR S.P.A.**  
[www.fantic.com](http://www.fantic.com)

刊行： 01/2023  
コード： 10185005

## 輸入総代理店

**モータリスト合同会社**

住所： 東京都大田区仲六郷2-41-8  
電話： 03-3731-2388

本書に記載されているシンボルマークマークの箇所は非常に重要で、特に注意を払う必要がある内容に関して使用されています。エンジンを始動する前にこのマニュアルをよく読み、お客様自身や他の人々の安全を確保するためにも、車両に関する知識や車両の状態、そして安全運転に関する知識が必要です。そのため、お客様自身が車両に精通し、あらゆる状況で熟練した技術で安全に操作できるようにすることを推奨します。本書では警告事項を示す際に以下のシンボルマークマークが使用されています。

### △ 車両およびライダーにとって重要な安全上の規制

### ① 車両の使用や特性に関する情報

## 車両のケア

Fantic Motor社の車両は、適切な車両ケア用品の使用を推奨します。アルコール成分、塗料などの希釈剤、ガソリンなどを含む製品を使用すると、車両の部品が破損したりダメージを受けることがあります。定期的なケアを行うことにより、車両の美観および機能を長期間保つことができます。

## 一酸化炭素

⚠️ 排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは人体に有毒であり、死亡する原因となる可能性があります。特定の作業をする場合は、必ず屋外か、充分な換気ができる部屋で行ってください。密閉した空間では作業しないでください。密閉された空間で作業する場合は、排気ガスを外部に排出するシステムがある場所で行ってください。

## 燃料

PETROL FUEL TYPE	
E5	
	E10

燃料としてガソリンにエタノールを5%まで混合したものがE5、さらに10%まで混合したものがE10です。欧州で販売されているそれらE5、E10の燃料に対応しています。

⚠️ 使用されているガソリンは非常に可燃性が高く、状況によっては爆発・炎上いたします。給油やメンテナンス作業は、必ず換気の行き届いた場所でエンジンを切った状態で行ってください。給油時や蒸発ガスが溜まっていると考えられる付近では喫煙しないでください。裸火、火花その他の火気や爆発源との接触を避けてください。

⚠️ 環境中に拡散しないようにし、子供を近づけないでください。

## 高温になるパーツについて

エンジンおよび特定のパーツは非常に高温となり、エンジンを切った後もしばらく高温のままでです。エンジンやエキゾーストシステム付近の作業を行う場合には、保護手袋を着用するか、温度が下がるのを待ってください。

## 一般警告次項

---

### エンジンオイルおよびギアボックスオイル

使用済みのエンジンオイルおよびギアボックスオイルを飲み込んだり気体を吸い込むと有害です。また、刺激性があり肌に触れると深刻な症状を引き起こす可能性があります。

環境中へ放出および拡散させることは禁じられています。

- ⚠ 飲み込んだ場合は、嘔吐させずに速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。
  - ⚠ 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹼と水で患部を洗い流し、患部に残留物がなくなるまで繰り返してください。
  - ⚠ 目や耳に入った場合、直ちに充分な量の水で洗い流し、速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。
  - ⚠ 衣類に付着した場合は、脱いで石鹼と水で完全に洗い流してください。洗う必要のある汚れた衣類はできるだけ速やかに着替えてください。
  - ⚠ メンテナンス作業の際は、必ず手を保護する適切な手袋を着用してください。
  - ⚠ 子供が近付かないようにしてください。
- ① 使用済のエンジンオイルおよびギアボックスオイルは密閉できる容器に回収し、お近くのサービスステーションまたは廃棄処分の認可を得たスタッフのいる廃油回収センターへ持ち込んでください。

### ブレーキフルード

- ⚠ ブレーキフルードが付着すると、塗装面、プラスチックあるいはラバー製の表面がダメージを受ける場合があります。ブレーキフルードに関する作業を行う際は、清潔な布でコンポーネントを保護してください。
- ⚠ 常に保護メガネを着用し、もし目に入った場合は直ちに大量の流水で洗い、すぐに医師に相談してください。子供が近付かないようにしてください。

## バッテリー電解液と水素ガス

-  **バッテリーの電解液は有毒で腐食性があります。硫酸を含んでいるため、皮膚に付着すると火傷を負うおそれがあります。手袋と保護衣を着用してください。**
-  **電解液が皮膚に付着した場合、流水で完全に洗い流してください。**
-  **バッテリー液が目に入ると失明のおそれがありますので、必ず目を保護してください。もし目に入った場合は、水で15分間完全に洗い流し、速やかに眼科専門医に相談してください。**
-  **バッテリーは爆発性のガスを放出します。炎、火花、その他の熱源を近づけないでください。  
バッテリーの保守作業や充電の際は適切な換気措置を講じてください。**
-  **子供が近づかないようにしてください。**
-  **バッテリーは腐食性です。特にプラスチックの部品には、バッテリー液が飛び散ったり、かかったりしないようにしてください。**
-  **定期的に廃棄してください。**

## サイドスタンド

-  **発進する前に必ずサイドスタンドが完全に上がっていることを確認してください。サイドスタンドにライダーやパッセンジャー（同乗者）の荷重をかけないでください。**

## 注意事項と一般警告事項

-  **マニュアルで指示されない限り、どの機械的部品も電気的部品も分解しないでください。**

## 安全に走行するために

人や物へのダメージを避け、より安全に走行するためのヒントを記載します。

### 車両の使用

車両を使用する際は、全ての法令を順守する必要があります。

危険な操作を避けるため、常に両手でハンドルバーを握り、両足をステップに置いてください。運転中は最新の注意を払ってください。

**飲酒時や服薬の影響を受けている時、特定の医薬品を摂取した後、あるいは肉体的に疲労している時や睡眠不足の際は運転しないでください。この状態は非常に危険であり、運転を行うと人や物に深刻な危害を与える恐れがあります。**

運転の際は路面の状態、視界、天候をよく観察し常に安全に考慮してください。安全に運転するのが難しい状況では、速度を落とし、慎重に運転してください。

濡れた路面での最初のブレーキの効きは弱いです。このような条件下では頻繁にブレーキをかけることをお勧めします。

**△ ブレーキにはABSシステムが搭載されていますが、濡れた路面や未舗装路、滑りやすい路面では十分に注意してください。**

砂や泥のある路面や除雪剤がまかれた道路を走行すると、ブレーキパッド内部に泥や砂などが入り込み摩耗しやすくなります。これを防ぐため、ブレーキディスク、キャリパーを点検し、必要に応じて洗浄することをお勧めします。

**△ 車両に元から付いている機能や性能を改造したり変更しないでください。それら車両の不正な改造や変更は、走行に危険を及ぼす違反車両とみなされ法律で禁止されています。車両の改造や変更を行うと、保証が取り消されるだけでなく、罰金の対象となる場合があります。**

**△ 車両の装備に関しては、お住まいの国や地域の法規制に従ってください。**

# 基本的な安全上のルール

---

車両への乗り降りでは、身体の動きを妨げるものが周囲に無い状況で行ってください。

乗り降りではサイドスタンドを下げる状態で常に車両の左側から行い、バランスを崩して転倒しないよう注意してください。

**⚠ ライダーは常に同乗者より先に乗車、後に降車し、同乗者が乗降中の車両の安定はライダーが確保してください。**

## 乗車

同乗者が乗車する際は、車両がバランスを崩さないよう細心の注意を払ってください。ライダーは両足を地面に着け、走行する時と同じように両手でハンドルをしっかりと握り、両足で車両をホールドしてください。

**① サイドスタンドは車両単体の重量を支える設計です。ライダーや同乗者の荷重を支えるようには設計されていません。**

**① 乗車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。**

同乗者のフットレストを引き出し、同乗者が乗車し終わるまで待ちます。

**① ライダーは同乗者に乗車の仕方を教えてあげてください。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように乗車します。**

**① 同乗者は左側のフットレストを使い、常に車両の左側から乗車します。**

ライダーは左足でサイドスタンドをはらって収納します。

## 降車

平坦で障害物の無い、駐停車に適した場所に車両を止めます。左足でサイドスタンドを完全に引き出します。

**① 降車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。**

走行する時と同じように両手でハンドルをしっかりと握り、両足で車両をホールドして、同乗者が降車するのを待ちます。

**① 同乗者は左側のフットレストを使い常に車両の左側から降車します。**

- ① ライダーは同乗者に降車の仕方を教えてあげてください。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように降車します。

△ 同乗者は車両から飛び降りたり、足を地面に着こうと無理に足を伸ばして降りたりしないでください。車両のバランスが崩れ、最悪、車両が倒れる可能性があります。

車両を傾けるとサイドスタンドが地面に接地します。ライダーの降車後、ハンドルバーを左へ完全に回して下さい。

△ 車両が静止し安定していることを確認します。

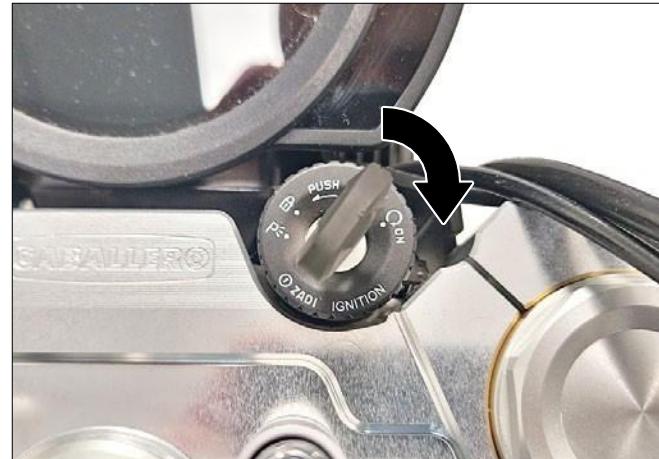
△ 車両の損傷を防ぐため、ライセンスプレートホルダーフレームを持って車両を持ちあげないでください。

# 基本的な安全上のルール

## 始動

キーを時計方向に回してステアリングロックを解除し、サイドスタンドが完全に上がっていることを確認して、正しい姿勢で乗車します。

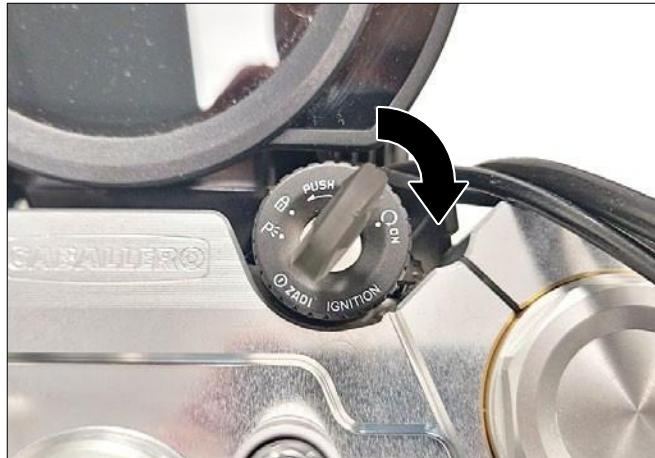
⚠ サイドスタンドが出ている場合、車両はギアがニュートラルの状態でのみ始動します。この状態でギアを入れようとすると、エンジンが停止します。



フロントおよび／またはリアブレーキをかけます。  
クラッチレバーを引き、ギアがニュートラルに入っていることを確認します。



キーをONの位置まで回し、メーターの起動動作から通常の標準画面が表示されるまで数秒間待ちます。



エンジンストップボタンAを押し、次にスタートボタンBを1回押します。

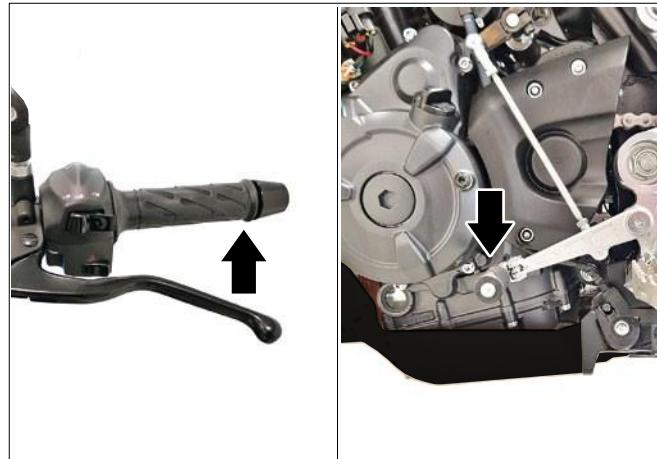
⚠ エンジンを適切に温めるため、最初の数キロメートルは低速で運転することを推奨します。エンジンが温まる前に急激に発進しないでください。



# 基本的な安全上のルール

## 始動

車両を始動させエンジンが適温になったら、クラッチレバーを操作してギアを1速に入れます。ダッシュボードのニュートラル表示灯が消えます。



クラッチをゆっくりとリリースし、徐々に加速して車両を前進させます。

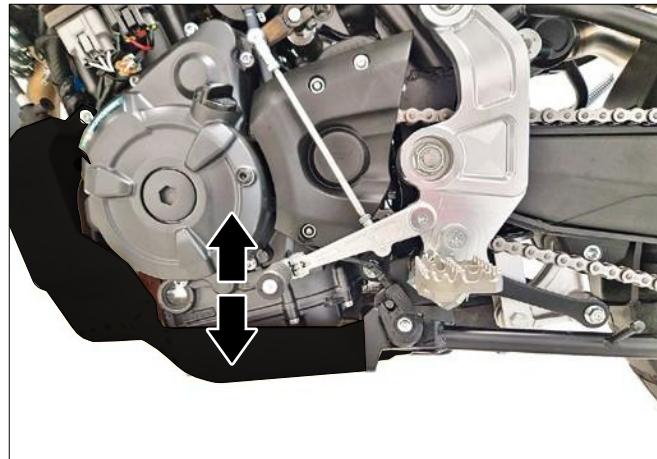


## 変速

ギアチェンジを行うには、クラッチレバーを操作してスロットルコントロールノブを緩め、ギアボックスペダルを上げてシフトアップ、ペダルを下げてシフトダウンします。

① 運転初心者の場合、車両の操作部とその機能についてよく習熟しておくことが重要です。

⚠ ギアは1速ずつシフトしてください。一度に1速より多くシフトアップ、シフトダウンすると、エンジン回転数が上がり、規定の回転数を超える可能性があります。



## エンジン停止

車両およびエンジンを停止させるには、車両が停止するまでフロントおよび／またはリアブレーキをかけます。シフトレバーをニュートラルにします。

⚠ 車両の走行中にエンジンストップボタンを押さないでください。車両が停止し、エンジンが損傷するおそれがあり、車両が制御不能になる可能性があります。



## 基本的な安全上のルール

これらの操作を行ってからエンジンストップボタンを押し、キーを反時計方向に回してOFFの位置にします。

- ① キーをOFFの位置に回し忘れると、バッテリーの充電レベルが低下し、バッテリー交換が必要になります。

車両の停止時は、クラッチを急に操作しないでください。エンジンが停止したり、突然後輪走行（ワイリー）したりするおそれがあります。

⚠ 急停止や突然の減速をさせてください。



### 燃料警告灯

- ① 燃料警告灯が点灯した場合、できるだけ早く給油してください。



## 慣らし運転のルール

車両を使用する最初の数回は、各部パーツの動きを馴染ませる慣らし運転期間を設けることが不可欠です。車両が持つ本来の性能を発揮するためにも、慣らし運転期間中は一定のルールに従う必要があります。

### ① 車両のベストパフォーマンスは、慣らし運転後の初回点検を完了して初めて発揮することができます。

以下のヒントは、ユーザーが適切な慣らし運転を行う際の指標となります。

エンジンおよび車両パーツに適切な負荷をかけることが重要です。その一方、負荷をかけ過ぎたり不足したりしないようにしてください。負荷のかけ過ぎ、不足、そのどちらの場合も車両のパフォーマンスに影響を及ぼします。急激な加速はせず、徐々に速度を上げてください。

### ① フル加速は可能ですが、フルスピードで長距離走行を行わないでください。

山道を走行する際は、エンジン、ブレーキ、サスペンションに負荷が掛かり過ぎないよう注意してください。エンジン、ブレーキ、サスペンションに負荷がかかる時と負荷が少ないとあるいは無負荷の時を周期的に繰り返すような、カーブや勾配の緩やかな道路が適しています。

新車購入時の新品のブレーキパッドは、ブレーキディスクとの摩擦が少なく本来の制動性能を発揮できません。慣らし運転を行い、ブレーキング時にブレーキパッドがディスクをしっかりと食いつくようにする必要があります。

慣らし運転には、都市部の道路をおよそ1,000km走行する必要があります。

フルスロットルでの長時間運転や、エンジンがオーバーヒートする可能性のある状態での運転を避けてください。ブレーキの慣らし期間は、制動距離が長いことを考慮に入れ、ブレーキレバーをより強く握ることを意識してください。

エンジン回転数をタコメーターのレットゾーン内に保ってください。

△ 慣らし運転期間中にエンジントラブルが発生した場合や、慣らし運転が終了したら、ただちにFantic Motor正規販売店で車両の点検を受けてください。

### ① 急ブレーキや長時間のブレーキは避けてください。

最初の1000kmの間に必要なメンテナンス作業を確認してください。

△ 走行距離がおよそ1000kmに達したら、Fantic Motor 正規取り扱い店の「メンテナンステーブル」に記載されている項目を確認してください。確認およびこれらの作業を実行することで、車両の損傷や人的事故を防止します。

△ これらのルールに従わなかった場合、エンジンや車両パーツに関して、その後に本来の性能を発揮できない可能性があります。

# 基本的な安全上のルール

---

## 服装

必ずヘルメットは着用してください。そのヘルメットも、車両が走行する国の認可を受けたもので、損傷が無く、バイザーに傷や汚れが無いものを着用してください。走行に適切な保護性能のあるウェアを着用し、走行時に邪魔になる可能性のあるアクセサリーや、転倒時に危険となる可能性がある尖った物は身に着けないでください。

- ① これら全ての事柄は、同乗者にも適用されます。

## 盗難防止のヒント

イグニッションキーをオンにしたまま車両を離れないでください。駐車時は常にステアリングロックを使用してください。車両は、ガレージなど安全な場所に駐車してください。

## 駐車

駐車する場所は慎重に選んでください。道路標識や下記に説明する内容を順守することは非常に重要です。

 **車両を壁に立てかけたり、地面に横倒しにして駐車しないでください。駐車場所は安定していて水平であることを確認してください。**

 **高温になる可能性のある部品（サイレンサー、エンジン、ラジエーター、ブレーキディスク等）が周囲の人々に危険を及ぼさないことを確認してください。**

 **エンジンがかかった状態や、キーを挿した状態では決して車両から離れないでください。**

## 輸送

車両を輸送する場合、フューエルタンクの燃料を完全に空にする必要があります。予期せぬ燃料漏れを防ぎ、それらパーツが完全に乾燥していることを確認してください。正常な作動状態でギアは1速に入れ、車両をしっかりと固定する必要があります。

 **故障時には牽引や安全性に問題のある処置を行わないでください。人および／または器物を危険にさらす可能性があります。事故を引き起こしたり、車両の損傷につながるおそれがあります。**

## サイレンサー

このパートは、排気ガスの一酸化炭素を酸化して二酸化炭素に変換し、不燃の炭化水素を水蒸気に変換し、窒素酸化物を酸素と窒素に変換して窒素酸化物を削減する機能を担っています。

- ① 車両の使用中、エキゾーストシステムの触媒エレメントに対応する部分は鮮やかな赤色を帯びる場合があります。この色の変化は正常であり、触媒の正しい動作を示します。

⚠ 乾燥した茂木がある場所の近くでは、車両を停止したり駐車したりしないでください。

⚠ 子供および／または人々が近付く可能性のある場所は避けてください。

⚠ サイレンサーは高温になるため、接触を避け、完全に温度が下がるまでは最大の注意を払ってください。

⚠ エキゾーストシステムを改造、変更、改ざんすることは禁じられています。

⚠ 有鉛ガソリンは触媒にダメージを与えるため、使用しないでください。

エキゾーストシステムに穴や錆または損耗の兆候が無いか確認してください。エキゾーストシステムが常に正しく作動することを確認してください。ノイズが大きくなったり異音が発生した場合は、できるだけ早くFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

⚠ メンテナンス、修理、交換作業の際はFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

# 基本的な安全上のルール

---

## サイドスタンド

サイドスタンドはフレームの左側にあります。車両をまっすぐに保ちながら、足でサイドスタンドを上げ下げします。

サイドスタンドにはイグニッションサーキットブレーカーシステムが装備されており、次の機能があります。

- クラッチレバーを引いていない状態で、ギアを入れてサイドスタンドを上げた場合の始動を防止します。
- ギアが入っていてクラッチレバーが引かれている場合でも、サイドスタンドが下がっている状態では始動できません。
- ギアを入れ、サイドスタンドを下げた状態でエンジンを停止してください。

① サイドスタンドセンサーは、点火回路遮断システムの一部です。このシステムにより点火を停止することができます。

⚠ サイドスタンド制御システムおよびサイドスタンド自体の動作を定期的に確認する必要があります。故障または誤動作の場合は、Fantic Motor 正規販売店に修理をご依頼ください。

## 車両ID

### 車台番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### エンジン番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Fantic Motor の車両には、車台番号とエンジン番号が付与されています。車台番号が消えたり損傷した時のために、上欄に番号を記録しておくことをお勧めします。

 **IDデータを変更しないでください。重大な罰則や行政処分を受けることがあります。さらに、車台番号が変更されてしまうと、すぐに判別できないと、新車の保証が無効になる場合があります。**

# 車両取扱いに関する基本事項

## 車台番号

車台番号は右側のステアリングチューブに刻印されています。

- ① 純正の交換部品を求める際は、この車台番号を  
ディーラーにお知らせください。



## エンジン番号

エンジン番号はクランクケースの左側に刻印されています。



## メインコントロール



- 1. ヘッドライト
- 2. 左フロントウインカー
- 3. ダッシュボード
- 4. クラッチレバー
- 5. 左ハンドルスイッチ
- 6. 左リアビューミラー
- 7. タンクキャップ
- 8. フューエルタンク
- 9. シート

- 10. リアハンドル
- 11. リアフェンダー
- 12. テールライト
- 13. ライセンスプレートホルダー
- 14. ライセンスプレートライト
- 15. 左後ウインカー
- 16. 左パッセンジャーフットレスト
- 17. 左ライダーフットレスト
- 18. サイドスタンド

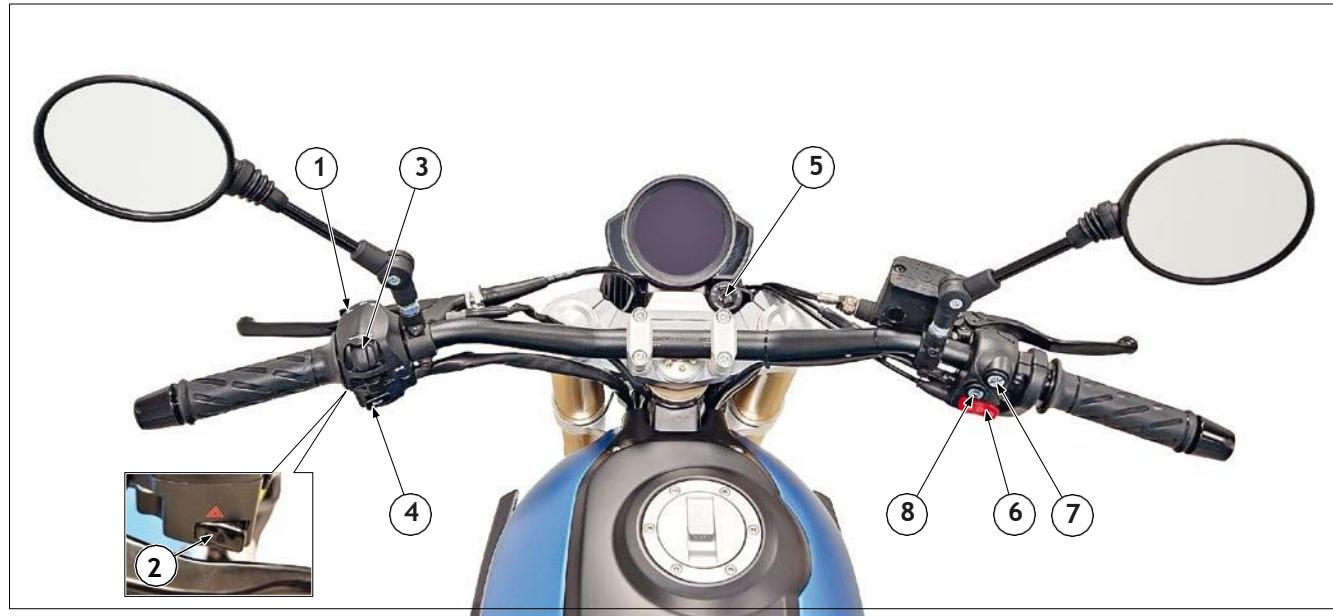
- 19. ギアシフトペダル
- 20. 左ラジエターカバー
- 21. フロントブレーキキャリパー
- 22. フロントスピードセンサー
- 23. フロントホイール
- 24. エンジンオイルキャップ

## 車両取扱いに関する基本事項



- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 25. 右リアビューミラー          | 34. リアブレーキマスター・シリンダー |
| 26. 右ハンドルスイッチ          | 35. 右パッセンジャー・フットレスト  |
| 27. 燃料残量表示灯            | 36. リアブレーキキャリパー      |
| 28. フロントブレーキマスター・シリンダー | 37. リアスピードセンサー       |
| 29. フロントブレーキレバー        | 38. リアホイール           |
| 30. 右前ウインカー            | 39. 右後ウインカー          |
| 31. リアブレーキペダル          |                      |
| 32. リアブレーキリザーバータンク     |                      |
| 33. 右ライダーフットレスト        |                      |

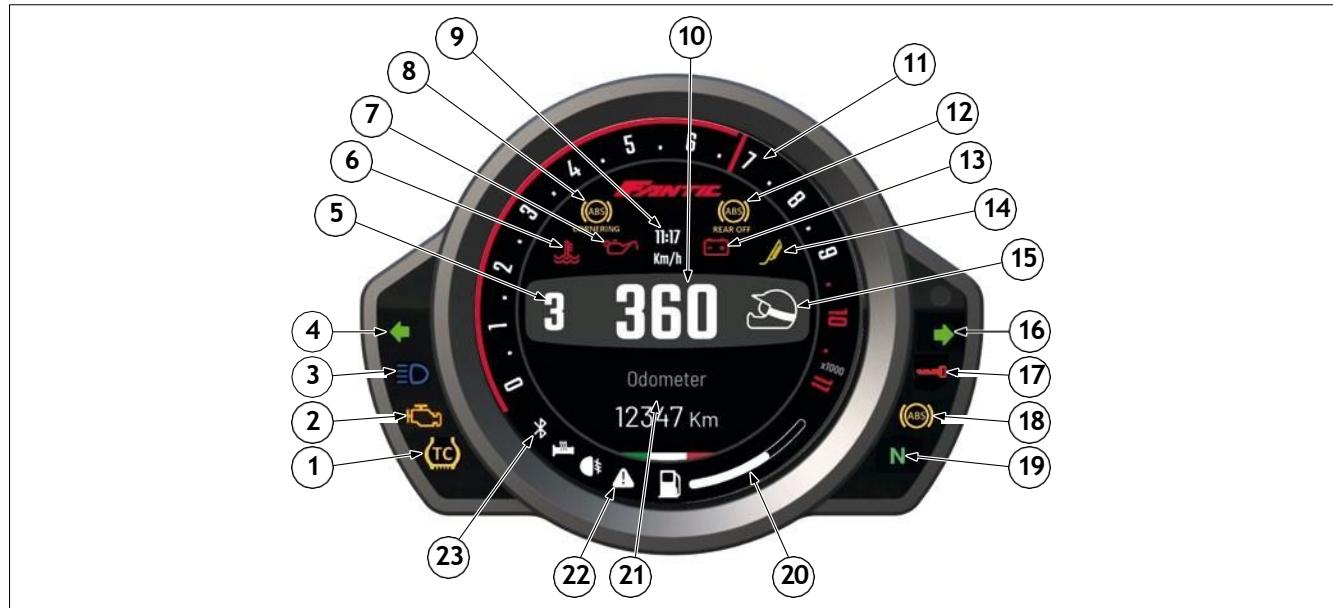
## パネルコマンド



1. ロービーム／ハイビームライトスイッチ
2. ハザードスイッチ
3. モードセレクトボタン
4. ホーンボタン
5. イグニッションスイッチ
6. エンジンスタート／ストップボタン
7. ライディングモードボタン
8. ABSインジケーターライト

# 車両取扱いに関する基本事項

## ダッシュボード



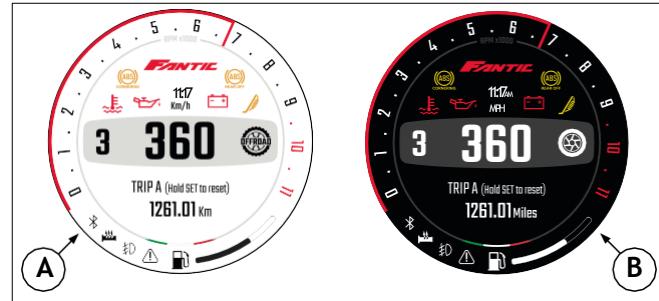
1. トランクションコントロールステータス
2. MIL インジケーター
3. ハイビームライト表示灯
4. ウインカー／ハザード表示灯
5. ギアインジケーター
6. 水温警告灯
7. オイルブレッシャー警告灯
8. コーナリングABSインジケーター
9. 時計

10. スピードメーター
11. タコメーター
12. ABSオフロードファンクション
13. 電圧警告灯
14. サイドスタンド
15. ライディングモード
16. ウインカー／ハザード表示灯
17. イモビライザー
18. ABSステータス

19. ニュートラル表示灯
20. 燃料残表示
21. メインインフォメーションウインドウ
22. ジネラルワーニング
23. ブルートゥースコネクティング

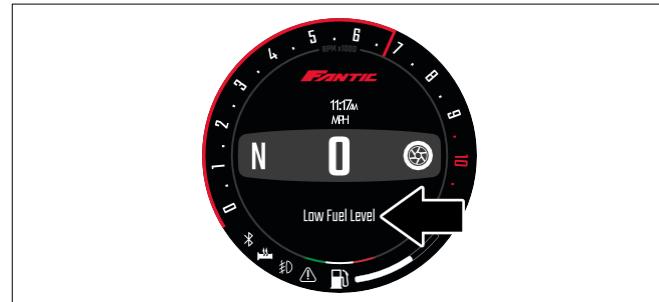
ディスプレイは2つのビューがあります。

- A. デイバージョン
- B. ナイトバージョン

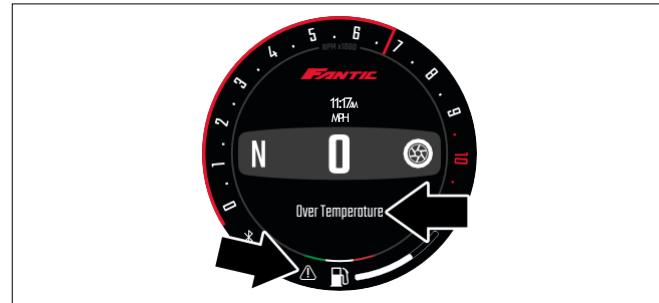


キーをオンにするたび、ディスプレイのアイコンが点灯してインフォメーションを確認することができます。最終的な警告ポップアップメッセージがメインウィンドウに表示されます。

(この例では「燃料レベル低下」)



ポップアップメッセージが警告の場合、一般的な警告通知がオンになります。



# 車両取扱いに関する基本事項

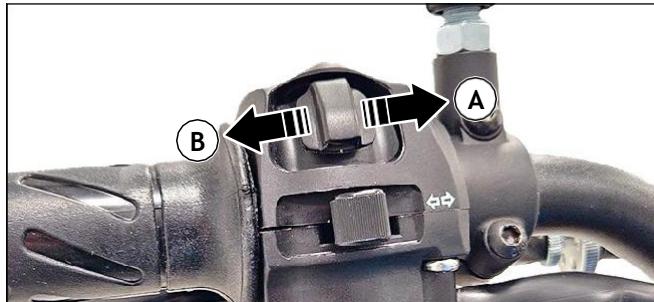
警告ポップアップをリセットするには、「モードセレクトボタン」を押します。

- ① 警告ポップアップは完全には削除されず、「Notification Center」に保存されます。

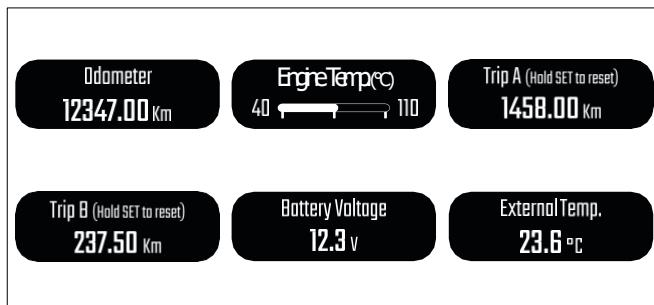


## メインウインドウ – スタンダードメニュー

ディスプレイがオンの場合、メインウインドウに基本情報が表示されます。「モードセレクトボタン右」(A) または「モードセレクトボタン左」(B) を移動すると、これらの情報に移動できます。



メニューのトリップA とトリップBの場合のみ、「モードセレクトボタン」を長押しすると、対応するトリップ計をリセットできます。



## メインウインドウ – ポップアップ

ポップアップメッセージは、メインインフォメーションウインドウを置き換えて表示されます。

タイムアウト（4秒）後、もしくは「モードセレクトボタン」を押すと、メインインフォメーションウインドウは、以前に表示されていた情報に戻ります。

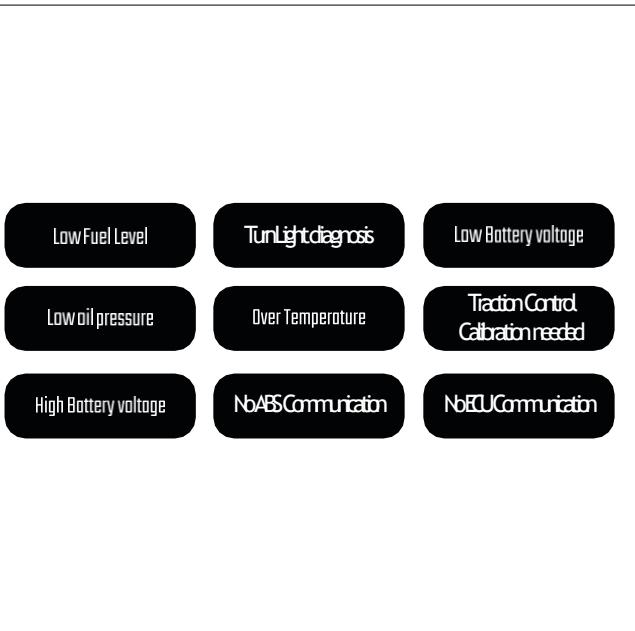


## メインウインドウ – ワーニングポップアップ

メインインフォメーションウインドウの基本情報に代わって、ワーニングポップアップメッセージが表示されることがあります。

ワーニングポップアップにはタイムアウトはありません。「モードセレクトボタン」を押すと、再度に表示されていた情報に戻ります。

ワーニングポップアップには、ポップアップが閉じられた後も、関連するアイコンが引き続き表示される場合があります。  
問題が解決されるまで、起動の度に表示されます。



# 車両取扱いに関する基本事項

## 燃料レベル低下ワーニング

燃料タンク内の燃料が「燃料不足」の規定値を下回ると、メインインフォメーションウインドウにワーニングポップアップが表示されます。

同時に、ダッシュボード下のアイコンがオレンジ色に変わります。ポップアップを閉じた後も、燃料レベルが「燃料不足」の規定値を超えるまで、アイコンはオレンジ色のままです。



## オプションメニュー

オプションメニューに入るには、車両が停止している場合(車速 < 1km/h)に「ライディングモードボタン」を長押しします。

車両の速度が5km/hを越えると、オプションメニューは自動的に閉じます。



オプションメニューは、画面全体に表示されます。

「モードセレクトボタン右」もしくは「モードセレクトボタン左」を動かしてメニューを移動することができます。

希望の項目を選択するには「モードセレクトボタン」を押します。「ライディングモードボタン」を再び長押しすると、オプションメニューが終了し、メインインフォメーションウインドウに戻ります。



以下の項目がオプションメニューで使用できます：

- Notification Center
- カスタムライディングマップ
- 日付・時刻
- 単位
- ディスプレイの明るさ
- デバイスとのペアリング
- トラクションコントロール・キャブレーション
- Exit

## Notification Center (画面は参考専用です)

ユーザーは以下を確かめることができます：

- 次回メンテナンスの日付もしくは走行距離。  
この値はFanticMotor正規販売店で更新／リセットできます。
- 3つのアクティブな警告メッセージリスト。警告がない場合"No new notifications"のメッセージが表示されます。
- 何らかの通知がある場合、警告は「Notification Center」に表示されます。



## カスタムライディングマップ<sup>®</sup>

このメニュー画面で、ユーザーは以下を設定できます：

- トラクションコントロールの有効 (ON) ／無効 (OFF)
- SettingABSの設定 (OFF – OFFROAD – ON)

ABSの設定が「OFF」または「OFFROAD」の場合、オプションメニュー画面終了後、図に示すシンボルがディスプレイに表示されます。



# 車両取扱いに関する基本事項

ABSの設定が「ON」の場合、オプションメニュー画面終了後、図に示すシンボルがディスプレイに表示されます。



## 日付&時刻

このメニュー画面で、ユーザーは以下を設定できます：

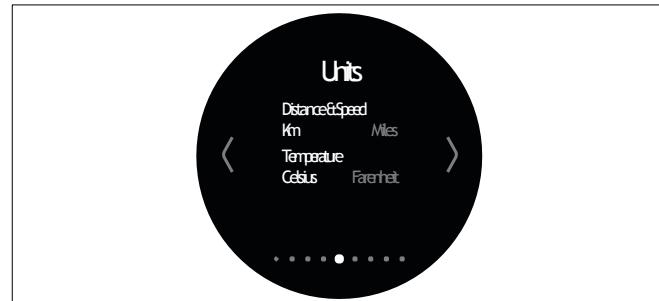
- 時刻(時間／分)
- 日付 (日／月／年)
- 時刻のフォーマット (AM/PM or 24H)



## 単位

このメニュー画面で、ユーザーは以下を設定できます：

- 距離と速度の単位 (Km / Miles)
- 温度の単位 (設置／華氏)



# 車両取扱いに関する基本事項

## ディスプレイの明るさ

このメニュー画面で、ユーザーは以下を設定できます：

- 自動（日中バージョン：明るい／夜バージョン：暗い）
- 「日中バージョン」のディスプレイの明るさ
- 「夜バージョン」のディスプレイの明るさ

### Display & Brightness

Appearance

Automatic

Light

Dark

Brightness

Light

Brightness

Dark

Brightness

Dark

## デバイスのペアリング

このメニュー画面で、携帯電話をペアリングできます：

デバイスの種類（iOSまたはAndroid）を選択した後、車両とデバイス両方のディスプレイの指示に従ってペアリングを完了します。

### DevicePairing

BLUETOOTH MODE

OFF

iOS

Android

PASSKEY:

## トラクションコントロール・キャリブレーション

このメニュー画面で、ディスプレイのワーニングポップアップを介し、必要に応じてトラクションコントロールのキャリブレーション手順を開始できます。

### Traction Control Calibration

Start

Calibration procedure?

No

Yes

# 車両取扱いに関する基本事項

## トラクションコントロール・キャリブレーション

トラクションコントロールのキャリブレーションが必要な場合、ウインドウディスプレイに“TC Calibration Needed”的ワーニングポップアップが表示され、トラクションコントロールのステータスがオンになります。



- 車両を静止させた状態でオプションメニューに入ります。
- 項目“TC calibration”を選択します。
- モードセレクトボタンを右に動かし“Yes”を選択します。
- モードセレクトボタンを短く押します。



メインインフォメーションウインドウに“TC Calibration Started”“Calibration Needed”というワーニングポップアップが表示され、トラクションコントロールのステータス表示が点滅し始めます。

その後、60秒以内に直線で  $50 \text{ km/h} \pm 5 \text{ km/h}$  の速度に達し、トラクションコントロールのステータス表示が消灯するまで、その速度を維持する必要があります。この手順には数秒かかる場合があります。

**⚠️ トラクションコントロール・キャリブレーション手順は  
「STREET」ライディングモードでのみ機能します！**



## ライディングモードの選択

ユーザーは、「ライディングモード」ボタンを短く押すだけでいつでもライディングモードを変更できます。e» button.

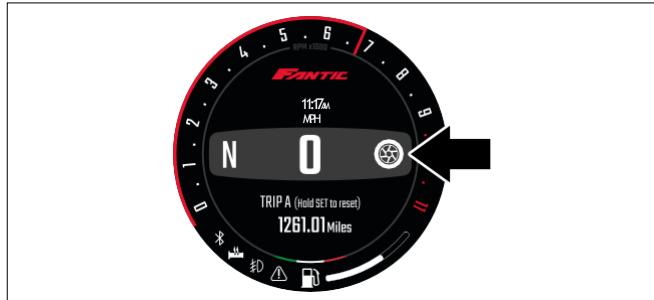
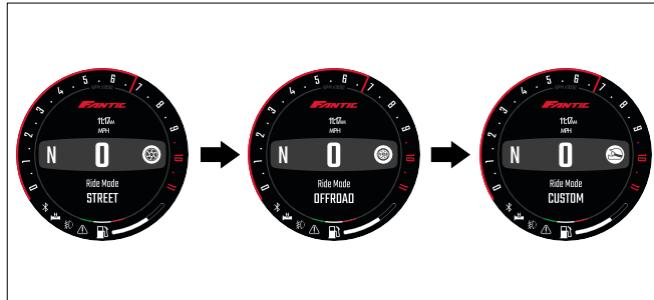
ボタンを押すと“Ride mode STREET”的ポップアップがメインインフォメーションウインドウに表示されます。

続けてボタンを押すと、ストリート／オフロード／カスタムの3つのライディングモードが切り替わります。

ユーザーは、「モードセレクトボタン」を押して希望のライディングモードを選択します。または、5秒のタイムアウト後、メインインフォメーションウインドウに戻ります。

ライディングモードを変更することで、トラクションコントロールの設定とABSをオフにすることが可能になります。

ディスプレイには、選択されたライディングモードのアイコンが表示されます。



## 車両取扱いに関する基本事項

ライディングモード名	アイコン	ポップアップメニュー	トラクションコントロール	ABS
ストリート		Ride Mode STREET	オン	オン
オフroad		Ride Mode OFFROAD	オフ	オフロード (必要に応じて)
カスタム		Ride Mode CUSTOM	オン または オフ	オン
			オン または オフ	オフ または オフロード

ライディングモード「カスタム」はカスタムライディングマップの項目でカスタマイズできます。

## ABSの無効化

初期の状態ではABSは「ON」に設定されています。

ABSの無効化は、以下の状況でのみ許可されます：

- 選択されたライディングモードが「オフロード」または「カスタム」であること。（カスタムを選択した場合、“ABSオフ”もしくは“オフロード”でカスタマイズされている場合に限ります。）
- 車両は静止状態（速度 </= 1km/h）



「ABS」ボタンを2秒以上長押しすると、ABSステータスが「オフロード」または「オフ」に変わります。

ABSの状態を通知するポップアップメッセージがメインインフォメーションウインドウに表示されます。

ABSの状態に応じてABS警告灯が点灯します。



ABSステータスが「オフロード」または「オフ」にある時、「ABS」ボタンを短くまたは長押しするとABSはオフの状態になります。再アクティベートすると、メインインフォメーションウインドウにポップアップメッセージが表示されます。

⚠ イグニッションスイッチOFF > イグニッションスイッチON  
のサイクル毎に、ABSは「オフ」の状態に戻ります。



# 車両取扱いに関する基本事項

## マルチメディアメニュー - ナビゲーション

走行中「モードセレクトボタン」を長押しすると、メインインフォメーションウインドウは「マルチメディア」メニューに入ります。

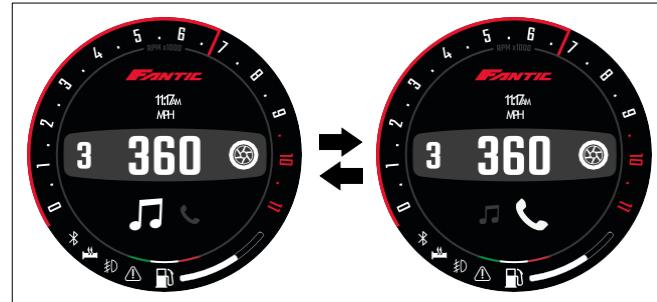
利用可能なメニューは次の通りです：

- メディアプレイヤー
- 通話管理



「モードセレクトボタン左」と「モードセレクトボタン右」を短く動かすとメニューを移動でき、「モードセレクトボタン」を短く押すと、対応するメニューに入ることができます。

「モードセレクトボタン」を長押しすると、メインウインドウに戻ります。



## メディアプレイヤー

メディアプレイヤーメニューでは、ユーザーは現在のビデオ／曲とアーティストの名前を確認し、以下の方法で操作できます：

- 「モードセレクトボタンセット」で再生／一時停止
- 「モードセレクトボタン左」で再開／前の曲へ
- 「モードセレクトボタン右」で次の曲へ

「モードセレクトボタン」を長押しすると、マルチメディアメニューに戻ります。



## 通話マネジメント

通話マネジメントメニューで「モードセレクトボタン」を短く押すと、最近の通話リストが表示されます。

「モードセレクトボタン右」または「モードセレクトボタン左」を押すことで、過去10件の通話リストを操作することができます。

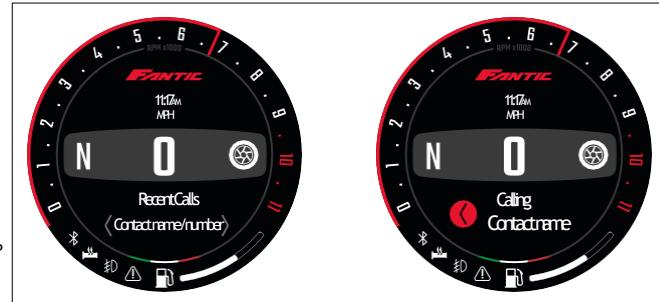


「モードセレクトボタン」を押すと、選択した番号／名前の通話が開始します。

**(i) 選択中、車両速度は1km/h未満の必要があります。車両の速度が上昇し、電話発信が開始されない場合メニューは終了します。**

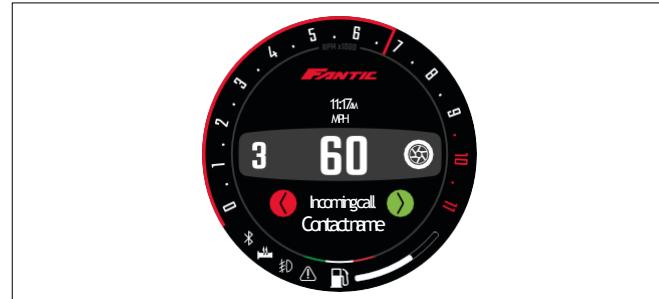
「モードセレクトボタン左」を押して通話を終了します。

「モードセレクトボタン」を長押しすると、前のメニューに戻ります。



## 着信マネジメント

- 「モードセレクトボタン右」を押して応答します。  
- 着信を拒否するには「モードセレクトボタン左」を押します。

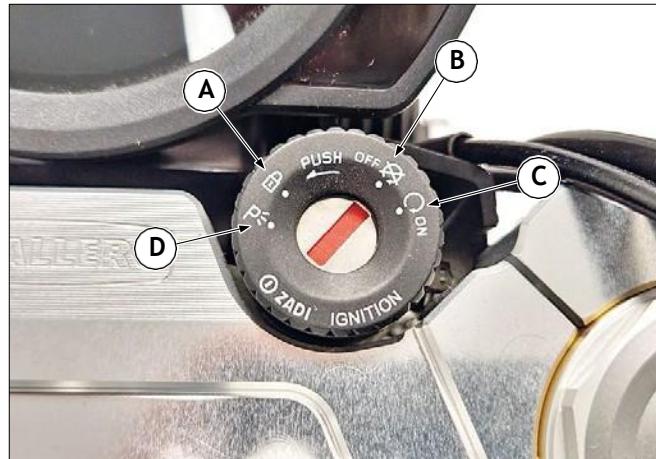


# 車両取扱いに関する基本事項

## イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチは車両前方、ダッシュボード付近にあります。イグニッションスイッチの機能は次の通りです：

- A. ハンドルがロックされ、車両の始動やライトの点灯はできなくなります。キーは取り外すことができます。
- B. 車両の始動やライトの点灯はできません。キーは取り外すことができます。
- C. 車両を作動させることができますが、キーを取り外すことはできません。
- D. ハンドルがロックされ、ヘッドライトとテールライトのポジションライトが点灯します。キーは取り外すことができます。

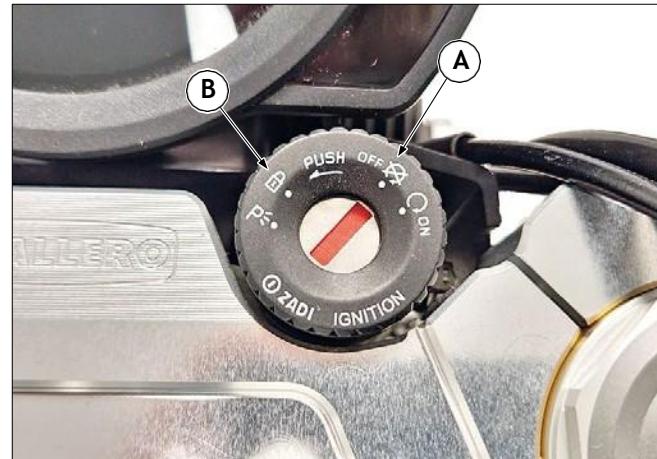


- ① 車両にはキーが2つ付属しており、そのうちの1つはスペアキーです。スペアキーは車両と別の場所に保管してください。
- ① イグニッションスイッチを“B”の位置にするとライトは消灯します。
- ① キーは、イグニッションスイッチに加え、フューエルタンクキャップの作動も兼ねています。
- ① 車両を始動すると、ライトは自動的に点灯します。

## ステアリングロックの動作

ステアリングロックをかけるには、ハンドルバーを左側に完全に回し、キーを“A”的位置に回します。

キーを反時計回りに押し回し、キーが“B”的位置にくるまでハンドルバーをゆっくり動かします。



## ホーンボタン

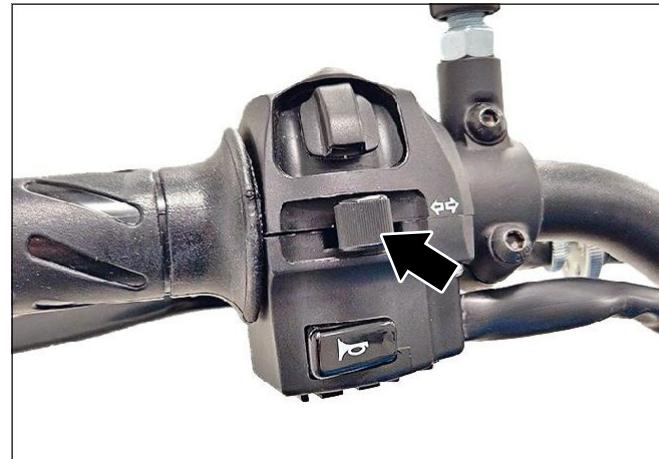
ボタンを押してホーンを鳴らします。



# 車両取扱いに関する基本事項

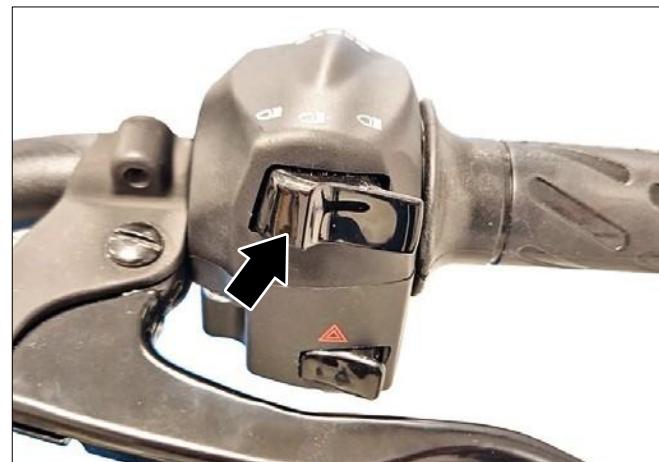
## ウインカースイッチ

スイッチを左または右に押して方向を示します。スイッチを押して中央の位置に戻るとウインカーが停止します。



## ライトスイッチ

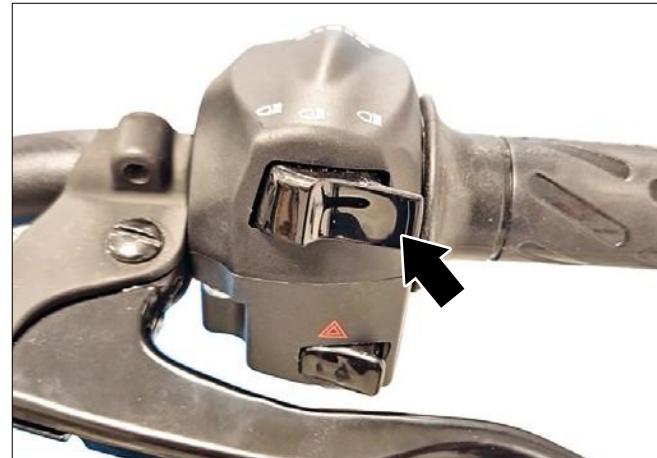
スイッチを上に動かすとハイビームが点灯します。ロービームに戻すにはライトスイッチを中央の位置に動かします。



## パッシングスイッチ

このボタンを押すとハイビームが点滅します。

危険を知らせたり、緊急の状況で使用します。ボタンを離すとハイビームの点滅は停止します。



## スタートボタン

キーを挿入してONの位置にし、エンジン停止スイッチが無効の状態でボタンを押すと、エンジンが始動します。



# 車両取扱いに関する基本事項

## エンジンストップボタン

このボタンを押すとエンジンが停止します。

安全機能および緊急スイッチの機能を果たします。

⚠ 車両走行中にこのボタンを押さないでください。エンジンが停止します。車両がコントロールを失い、事故の危険性が高まり、器物や人を危険にさらす恐れがあります。



## ABS システム

この車両には両輪で作動するABSシステムが搭載されています。ABSシステムは、ブレーキ操作時にブレーキシステム内の圧力を制御する電動油圧装置で構成されています。これは、フロントフォークに装備されているアンギュラースピードセンサー“B”が、（ブレーキディスクの）フォニックホイール“A”的溝を検出することによって作動します。

ABSシステムは、従来のブレーキシステムと比較してブレーキの安定性を高め、転倒のリスクを軽減することができます。

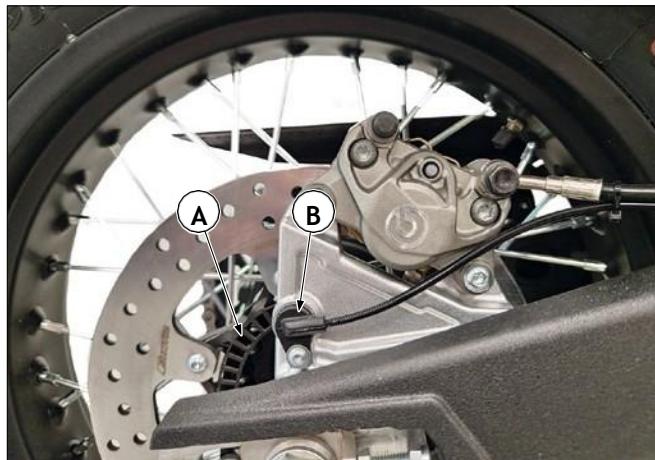
ABSシステムは、車両と道路状況によって許容される物理的制限内で、車両が傾斜している場合でも車輪のロックやスリップを防ぎ、ABSの動作を最適化する「コーナリングABS」を装備しています。

コーナリングABS機能は、両輪のABSが機能している場合のみ作動します。

**⚠ 実際のロードホールディング性能を越えないようにしてください。適切な速度で、常に天候と路面状況を考慮に入れて走行することはライダーの責務です。ABSは、ライダーの判断ミスや車両の不適切な使用を補正することはできません。**

**① キーを“ON”の位置に回すと、ABSインジケーターが点灯し、車両速度が5 km/hを越えるまで点滅、その後消灯します。**

**⚠ バッテリー故障時には、ABSシステムは停止します。**



## 車両取扱いに関する基本事項

⚠️ ABSシステムは、ホイールからの情報を受信して、両方の前後両輪に介入します。常にフォニックホイールの溝に汚れが付着していないことを確認し、センサーからの距離が一定であることを定期的に確認してください。確認や調整については、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

ABSボタン“C”を数秒押すことで、ABS機能を起動／停止することができます。

① ABSシステムを手動で停止すると、ABSインジケーターは点灯し続けます。

⚠️ In 「コーナリングABS」機能に障害が発生した場合、ABSインジケーターが点灯しても、車両は標準のABS機能を保持します。スピードを控えめにし、Fantic Motor 正規販売店にご相談ください。

⚠️ ABSシステムの故障時、ABSインジケーターが点灯します。車両は従来のブレーキシステムの特性を保持し続けます。スピードを控えめにし、Fantic Motor 正規販売店にご相談ください。

⚠️ 低速ではABSシステムは起動しません。低速でグリップが弱い条件下では、ブレーキ状況に特に注意を払ってください。



## トラクションコントロールとアンチ・ウイリーコントロール

エンジンコントロールユニット（ECU）は、エンジンマネジメントの他に、以下を監視できる制御ロジックを統合しています：

- トラクションコントロール
- アンチ・ウイリーコントロール

トラクションコントロールは、ABSとIMUからの信号を利用し、前後ホイールのスリップを認識し、スリップが発生した場合にエンジンパフォーマンスを制限します。このシステムは単一の作動設定を提供します。

アンチ・ウイリーコントロールは、ABSとIMU（傾斜角測定）からの信号を利用し、定義されたウイリー角を越えた場合にパフォーマンスを制限します。

システムは、次のライディングモードで使用できます：

- ストリート：両方のシステムがアクティブ
- オフロード：両方のシステムが非アクティブ
- カスタム：ライダーの選択によりアクティブもしくは非アクティブ

## タイヤキャリブレーション

この機能は、片側または両側のタイヤを交換するたびに実行する必要があります。この機能により、前輪と後輪の回転差を学習できます。これは、トラクションコントロールシステムの適切な動作に必要な情報です。この機能を実行するには「トラクションコントロールキャリブレーション」の項目を参照してください。

# 車両取扱いに関する基本事項

## シートオープン

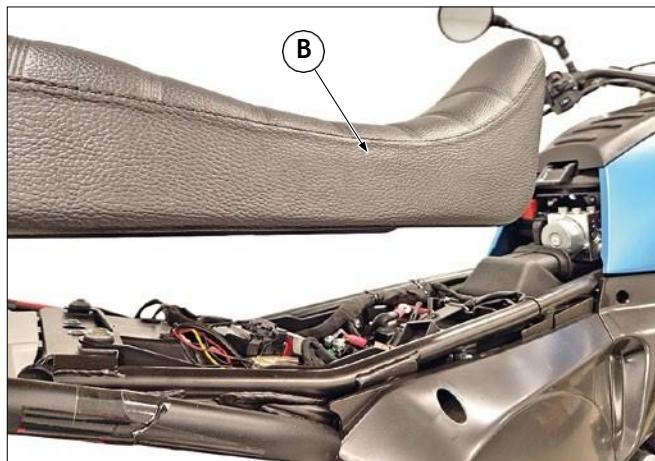
シートを外すには、再度カバー左側にあるロック“A”にキーを差し込み、キーを時計回りに回します。



シート“B”を持ち上げてシートを外します。

⚠️ シートを取付ける前に、シート下のスペースにキーを置き忘れていないか確認してください。

⚠️ 乗車前にシートが正しく固定されていることを確認してください。



## 給油

給油する際は、カバー“A”を開けます。  
キー“B”を差し込み、反時計回りに回します。  
キャップ“C”を上げて給油します。

⚠ 給油時は、喫煙したり火気を使用したりしないでください。電気機器および火花や着火の原因となるものは使用を避けてください。これらのルールに従わなかった場合、火事や爆発の危険があり、器物および／または人に深刻な危害を与えるおそれがあります。

⚠ 給油時に燃料に添加剤やその他の物質を加えないでください。

⚠ 燃料が漏れないように注意してください。じょうごを使用する際は、清潔であることを確認してください。

⚠ 本マニュアルの仕様に記載されているタイプの燃料を使用してください。異なる油種を仕様しないでください。燃料システムを損傷し、エンジンの作動に影響を与える場合があります。

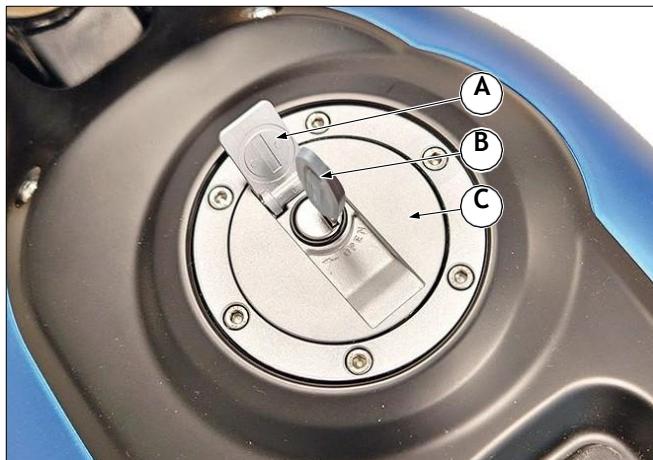
給油後、キャップ“C”を閉じます。

キー“B”を時計回りに回してからキーを抜きます。

カバー“A”を閉じます。

ⓘ タンクキャップは、キーを差し込んだ状態でのみ閉じることができます。

⚠ タンクキャップが閉じていることを確認します。



# 車両取扱いに関する基本事項

## 車両の長期保管

車両を数ヶ月に渡って使用しない場合は、事前に以下の準備を行うことを推奨します：

- 燃料タンクを完全に空にします。
- バッテリーを取り外し、2種間に1度適切な充電器で充電します。

**⚠️ バッテリーは、5 °C～35 °Cの乾燥した場所に保管する必要があります。**

**バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。**

- タイヤの空気圧を定期的にチェックします。前後輪のタイヤを地面から浮かせた状態で保管できるスタンドがあると好ましいです。
- チェーンを潤滑します。
- 湿気がエキゾースト内部に入らないよう、密閉できる袋などでサイレンサー部分を覆います。
- 車両全体を覆うことのできるバイクカバー（通気性素材）で車両を保護します。
- 車両は湿度変化が少なく、湿度が低く、日光のあたらない涼しい場所に保管します。

## 保管期間後

- カバーを外して洗車します。
- バッテリーの状態を点検します。
- 予備点検を実施します。

**⚠️ 交通量の少ないエリアで、スピードを控えめにして数キロメートルのテスト走行を行います。**

## 洗車

定期的な洗車はパーツの状態を良好に保ちます。

以下のような条件で車両を使用する場合は、より高頻度で洗車することを推奨します：

- 湿度が高く、周辺の塩分が通常より高いエリア。
- 塩分や融雪剤が使用されている道路。
- 粉塵やタールの汚れが存在している道路やエリア。
- スポーツ用途またはオフロード走行。
- 昆虫の死骸や鳥の糞などが車両に付着している場合。

植物や樹木の下に車両を駐停車しないことを推奨します。植物や樹木の樹液、樹脂、果実または葉の中には、車両のパーツや塗装に悪影響を及ぼす成分が含まれている場合があります。

**⚠ Fantic Motorでは、洗車に高品質の製品を使用することを推奨しています。不適切な製品を使用すると、車両の部品を損傷する可能性があります。洗車の際は、アルコールやガソリンを含む洗剤や洗浄剤を使用しないでください。Fantic Motorでは、環境にやさしい中性液体石鹼の使用を推奨しています。**

**⚠ 高圧洗浄システム（またはスチームクリーナー）を使用すると、シール、オイルシール、ブレーキシステム、電装部品、ダッシュボード、シートなどが損傷する可能性があります。Fantic Motorでは、高圧洗浄システムやスチームクリーナーの使用を推奨していません。**

**⚠ 洗車の前に、イグニッショニングキーをオフにし、水の侵入を防ぐために適切なカバーでシートを保護してください。**

特に夏場など、車体がまだ温かい状態で、日光の下で洗車をしないでください。水ですすぐ前に洗剤が乾いてしまうと、塗装や部品にダメージを与える可能性があります。

プラスチック製パーツの洗浄には40°C以上の液体を使用しないでください。

高圧エアダスター、スチーム、高圧の水は、下記部分には使用しないでください：

- ホイールラブ
- ハンドルバースイッチ
- ベアリング
- ブレーキオイルマスター・シリンダーとタンク
- ツールヒンジケーター
- エキゾーストシステムの排気口
- ステアリングロック

# 車両取扱いに関する基本事項

- フューエルタンクキャップ等
- 灯火類
- 電装部品
- デカール
- シート

高压洗浄機の使用は、車両の複数のパーツにダメージを与えるおそれがあります。

低圧の温水ジェットを使用し、車両の特に汚れた部分を十分にすすぎます。やわらかいスポンジを使用して車両の全パーツを洗います。

散水ノズルを使用して車両全体をよくすすぎます。セーム皮でふきあげ、車両を乾燥させます。

洗車後はブレーキ効率が低下する場合がありますので、ディスクをよく乾燥させ、パッドが乾燥するまで待つことを推奨します。車両が始ま動したら、注意してブレーキを繰り返し操作してください。

シリコーンワックスによるつや出し作業は、しっかりと徹底的に洗車した後にのみ行ってください。

 **車両に研磨ペーストを使用しないでください。塗装部品にダメージを与えるおそれがあります。**

 **ブレーキシステムの部品には保護ワックスを使用しないでください。作動に悪影響を及ぼすおそれがあります。**

 **シートにワックスをかけないでください。シートが損傷したり滑りやすくなり、ライダーやパッセンジャーの安定性が低下し、事故の危険性が高まり、器物や人を危険にさらす恐れがあります。**

## はじめに

特定のメンテナンスや修理作業についてはFantic Motor正規販売店にご相談ください。常に純正の交換部品を用いて素早く正確なサービスをお約束します。

最初の数時間の使用後は、予備点検を実施することをお勧めします。

**△ これらの手順に従わない場合、人や車に重大な傷害をもたらす可能性があります。故障や異常を発見した場合、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。**

## 予備点検

部品	説明
フロントおよびリアディスクブレーキ	レバーの動作を確認し、アイドルストローク、フルードレベルおよびリークの有無を確認。必要に応じてブレーキフルードを充填。
スロットルコントロール	スロットルノブの回転がスムーズで両方向で滑らかなこと、引っかかりがないことを確認。
エンジンオイル	オイルレベルを確認し、必要に応じて充填。
ホイールとタイヤ	タイヤ表面の状態、空気圧、摩耗およびダメージの有無を確認。異物が付着している場合は取り除く。
レバーとブレーキ	操作時と解放時に、引っかかったり滑ったりせずに正しく作動するか確認。必要に応じてジョイントを潤滑。
クラッチレバー	操作時と解放時に、引っかかったり滑ったりせずに正しく作動するか確認。必要に応じてジョイントを潤滑。
ハンドルバー	両側へ完全に自由かつ均一に回転することができ、隙間や緩みがないことを確認。

# メンテナンス

部品	説明
サイドスタンド	回転やスライド具合を確認。スプリングのテンションがノーマルポジションに戻ることを確認。必要に応じてジョイントを潤滑。安全スイッチの正しい作動を確認。
ボルト類	緩んでいるボルト類がないか確認。必要に応じて調整および締付け。
フューエルタンク	フューエルレベルを点検して必要に応じて給油。フューエルキャップの密閉性と、回路にリークがないことを確認。
エンジンストップスイッチ	正しく作動することを確認。
スタートスイッチ	正しく作動することを確認。
フォニックホイール	汚れやダメージがないことを確認。
音響および視覚装置	正しく作動することを確認。故障時は交換。

## エンジンオイル

⚠ 走行距離 1,000 km毎にエンジンオイルレベルを確認してください。

### エンジンオイルレベルの点検。

定期的にエンジンオイルレベルを確認します。

① エンジンオイルの確認は、エンジンの作動温度で行う必要があります。

⚠ エンジンオイルを確認する際は、車両をサイドスタンドで支えないでください。

車両を地面に置いた状態で、車両を水平に保ちます。

エンジンを始動し、アイドリング回転数で少なくとも2分間ウォームアップしてから停止します。

オイルレベルをチェックする前に2分間待ちます。

点検窓からオイルレベルを確認します。

オイルレベルは点検窓の目盛りの間にある必要があります。

H = MAX

L = MIN

① エンジンにダメージを与えないためには、オイルレベルは “H”マークを越えたり、“L”レベルを下回ってはいけません。

① 車両を完全に水平にした状態で、点検窓からオイルレベルを確認します。



# メンテナンス

## エンジンオイルの充填

エンジンオイルレベルの確認後、レベルが正しい範囲でない場合は充填する必要があります。

オイルレベルプラグを取り外して、充填してください。

- ① じようごを使用する場合は清潔であることを確認してください。

△ 添加剤やその他の物質を加えないでください。「推奨製品」のセクションで紹介されている製品を使用してください。



## エンジンオイルの交換

⚠ フィルターやエンジンオイルの交換作業は複雑で、十分な経験が必要です。フィルターやエンジンオイルを交換する必要がある場合、Fantic Motor正規販売店へ連絡することを推奨します。

### ① エンジンオイルの量

- 総量 : 3.0 リットル
- オイルフィルターエレメント交換なしの場合 : 2.3 リットル
- オイルフィルターエレメント交換ありの場合 : 2.6 リットル

# メンテナンス

## タイヤ

タイヤ空気圧、サイズに関しては「テクニカルサービスデータ」のセクションを参照してください。

⚠ タイヤ空気圧はタイヤ温度が高いと正しく計測できないため、室温下で確認してください。

ⓘ 周辺温度と同じタイヤ温度とは、車両が3時間以上停止しているか、または走行した距離が2km未満であることを意味します。

長距離走行の前後には燃料とタイヤ空気圧（室温下）を確認してください。

⚠ タイヤ空気圧が高すぎると、地面の凹凸に対して適切なクッション性が得られず、振動がハンドルバーに直接伝わり、車両のコントロール性が損なわれます。タイヤ空気圧が不十分な場合、タイヤの側壁部に負担がかかり、タイヤが滑ったりリムから外れたりする危険があります。その結果、車両のコントロールが失われる可能性があります。また急ブレーキをかけると、タイヤがリムから外れてしまう恐れがあり、スリップするリスクも高まります。

ⓘ エアゲージの個体差に起因する不正確な値を測定しないように、可能な限り常に同一のエアゲージを使用することを推奨します。



このステッカーにはフロントおよびリアタイヤの空気圧が記載されています。

① 車両左側のチェーンガードに貼ってあります。



⚠ 表面の状態と摩耗を確認してください。タイヤの状態が悪いとグリップと車両の操作性が損なわれます。タイヤが摩耗したりパンクした場合は交換してください。タイヤの修理や交換後はホイールバランスを調整してください。メーカー指定のサイズのタイヤのみを使用してください。指定外のタイヤの使用は車両の操作性や安定性を損ない、器物や人に障害を与え、重症あるいは死亡に至る事故を生じるおそれがあります。

## メンテナンス

---

- ⚠️ 突然の空気圧低下を防ぐため、プレッシャーバルブには常に保護キャップが取付けられ、しっかりと締まっている事を確認してください。
- ⚠️ 新しいタイヤの場合、滑りやすいフィルムでコーティングされている場合があります。最初の数キロは慎重に走行してください。不適切な液体でタイヤを潤滑しないでください。古いタイヤは、完全に摩耗していなくても柔軟性が失われている場合があり、ロードホールディングが保証されませんので交換してください。

交換、修理、メンテナンスは非常に重要です。経験のある作業者が適切なツールを使用して行う必要があります。そのため、特定の作業時は、Fantic Motor 正規販売店か、タイヤスペシャリストにご依頼ください。

- ⚠️ 提供されているタイヤはチューブレスタイヤで、インナーチューブと共にスパイククリムに取付けられています。インナーチューブの無いチューブレスタイヤは使用しないでください。

### トレッドの深さ

#### 最大トレッド値

- フロントタイヤ : 5.60 mm
- リアタイヤ : 8.00 mm

- ⓘ トレッド溝の深さは1mm、または車両を使用する国の法律で定められた値を下回ってはいけません。

## スパークプラグ

⚠️ スパークプラグの点検、クリーニング、交換については、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

## エアフィルター

⚠️ エアフィルターはクリーニング不要で、交換が必要です。

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「エアフィルター」の項目を参照してください。

⚠️ エアフィルターの分解、点検、クリーニング、交換については、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

## クーラント

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「クーリングシステム」の項目を参照してください。

⚠️ クーラントレベルが最小値を下回っている場合は車両を使用しないでください。

⚠️ 交換、点検、クーラントの補充については、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

# メンテナンス

## ブレーキシステム

### フロントブレーキフルードレベルの確認

フロントブレーキフルードレベルを確認する際は、車両を再度スタンドで支え、ブレーキオイルリザーバー内のフルードがキャップに対して水平になるようにハンドルバーを回転します。フルードが“MIN”マークを超えていることを確認します。

**⚠ フルードレベルが“MIN”マークに達していない場合、ブレーキディスクとパッドの摩耗を確認してください。ブレーキディスクとブレーキパッドを交換しない場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。**



### リアブレーキフルードレベルの確認

リアブレーキフルードレベルを確認する際は、車両を垂直に保ち、ブレーキオイルリザーバー内のフルードがキャップに対して水平になるようにします。フルードが“MIN”マークと“MAX”マークの間にあることを確認します。

**⚠ フルードレベルが“MIN”マークに達していない場合、ブレーキディスクとパッドの摩耗を確認してください。ブレーキディスクとブレーキパッドを交換しない場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。**

### ブレーキシステムへのフルード補充

**⚠ ブレーキフルード補充の際は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。**

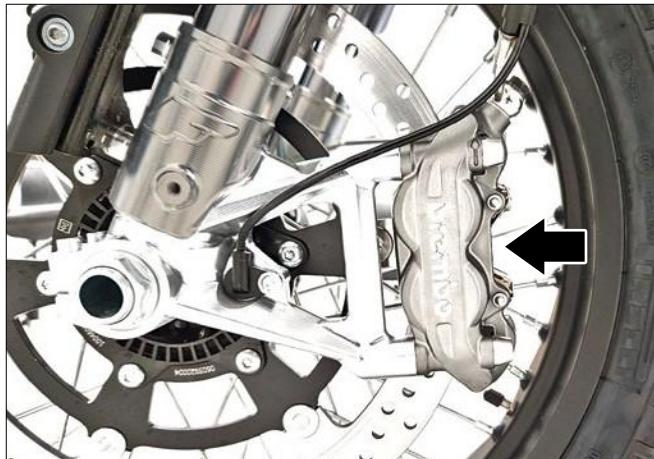


## パッドの摩耗点検

- ① 走行前や使用後に毎回パッドの摩耗状況を点検することを推奨します。

パッドの溝は常に目視で確認できる必要があります。ディスクブレーキパッドの摩耗具合は使用状況や走行タイプ、道路タイプによって変化します。

パッドの摩耗を素早く確認するには、車両をサイドスタンドで支えます。



フロントブレーキキャリパーの場合はキャリパーホイールピンの方向を下から上に、リアブレーキキャリパーの場合はリア上部から見て、ディスクとパッドの間の目視点検を行います。

- △ 材料の限界を超える摩耗は、パッド金属シューとディスクとの接触を招き、その結果金属ノイズが発生し、キャリパーから火花が発生します。ブレーキ効率、ディスクの安全性や完全性に影響を与える恐れがあります。

溝が消えた場合（摩擦材の高さ1.5 mm）、ブレーキパッドを交換してください。



# メンテナンス

## サスペンション

### フロントホイールサスペンション

⚠ フロントサスペンションオイルの交換時は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「フォーク」の項目を参照してください。

## 点検

フロントブレーキレバーを繰り返し握り、フォークを圧縮します。ストロークがソフトで、ロッドにオイル漏れの痕跡が無いことを確認します。全てのフロントサスペンションコンポーネントの取付けに緩みがないことを確認します。

⚠ 故障が見つかった場合や専門技術者に相談する必要がある場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

## 調整

このタイプのサスペンションは調整が不要です。サスペンションの基本設定はFantic Motor が実施済みです。

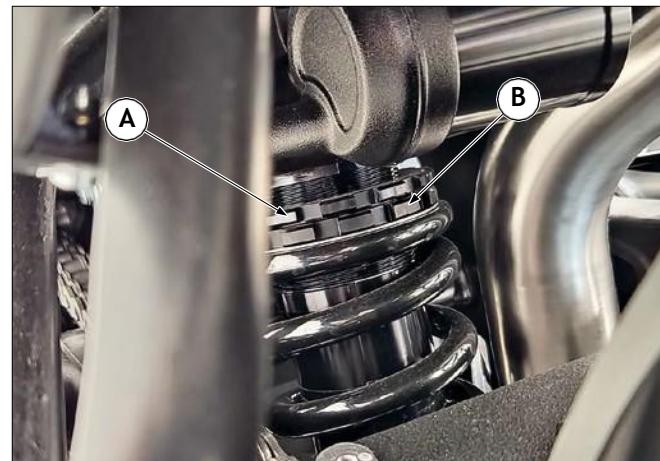


## リアサスペンション

メンテナンス周期については「メンテナンステーブル」セクションの「リアショックアブソーバー」の項目を参照してください。リアホイールサスペンションは、ダンパーとリンクージュニットで構成されており、ショックアブソーバーヘッドの上部とスイングアームの下部（リンクージ）に接続されています。

### ショックアブソーバーのプリロード調整

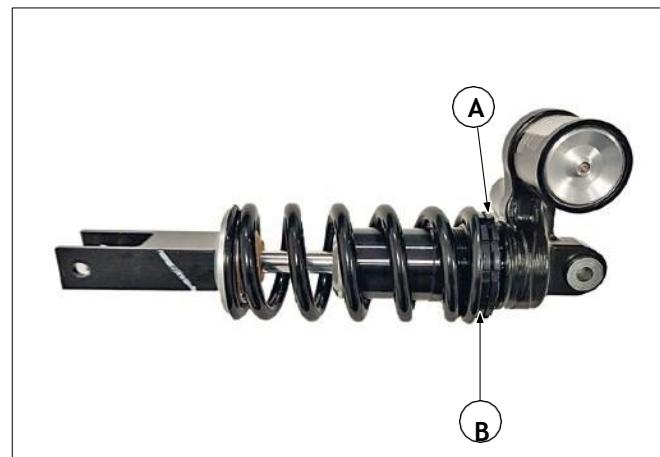
さまざまな使用ニーズに合わせて、設定をカスタマイズすることができます。設定を変更する際は、エンジンが完全に冷えるまで待ちます。車両を使うコンディションに合わせてスプリングプリロードを調整します。



- 2つのフックレンチを使用して固定リングナット“A”を緩め、リングナット“B”を希望の位置まで回します。
- 保持用のリングナット“A”を再度締めます。

**⚠ 損傷を避けるため、リミットを超えて（両方向に）無理に回転させないでください。**

**ⓘ サスペンションの基本設定はFantic Motor が実施済みです。**



# メンテナンス

## クラッチレバーとギアボックス

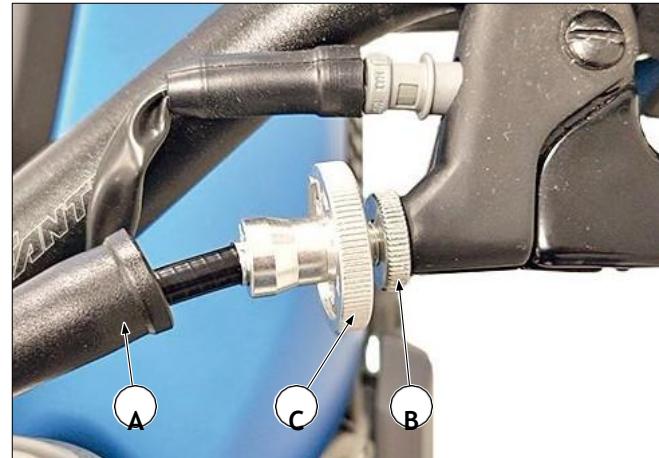
エンジンが停止した時やクラッチレバーを握っている状態にも関わらず車両が前進する傾向がある時、またはクラッチがスリップしてエンジン回転数に対して加速遅れが発生する時は、クラッチの調整を行います。

調整の方法：

- 保護カバー“A”を外します。
- リングナット“B”を緩めます。
- 調整リングナット“C”を時計回りに回すと張りが強くなり、逆にリングナットを反時計回りに回すと張りが弱くなります。
- 保護カバー“A”を再度取付けます。
- アジャスター“C”的ストロークが必要なクリアランスを確保するのに不十分な場合は、エンジンランクケースにあるクラッチレバーアジャスター“D”を操作してください。

**⚠ クラッチケーブルの状態を全長にわたって確認します。**  
ヒビ、切り傷、つぶれ、磨耗などがないか確認します。  
問題があればFantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

**① 調整を行っても必要なクリアランスが確保できない場合はFantic Motor 正規販売店へご連絡ください。**



## フロントブレーキレバー調整

コントロールレバーには、ハンドルバーグリップからレバーまでの距離を調整するためのリングナット“A”が装備されています。

リングナットを時計回りに回すと、レバーがアクセルグリップから遠ざかります。逆にレバーを反時計回りに回すと近づきます。



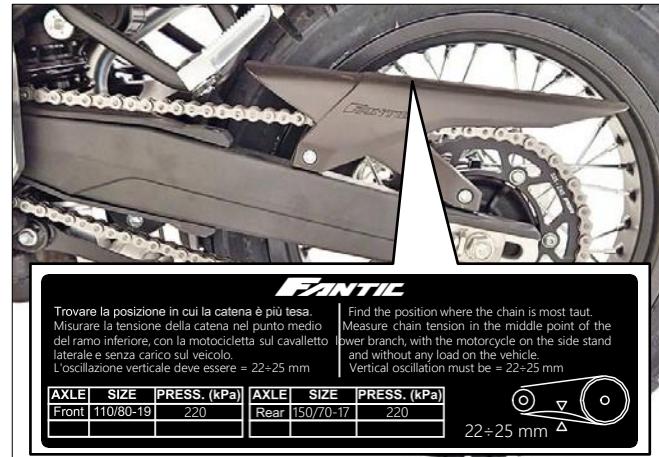
# メンテナンス

## チェーン

チェーン、前後スプロケットを点検し、以下の症状がないか確認します：

- ローラーの摩耗
- ピンの緩み
- 潤滑不足、錆、つぶれ、固着等
- シールリングの紛失
- 前後スプロケットの過度な摩耗やダメージ

ステッカーには、チェーンテンションとの最小値と最大クリアランスを測定するための方法が明記されています。



① ステッカーは、車両左側のチェーンガードに貼ってあります。

△ どれか一つのコンポーネントに損傷があった場合、アッセンブリー（チェーン、前スプロケット、後スプロケット）を交換する必要があります。

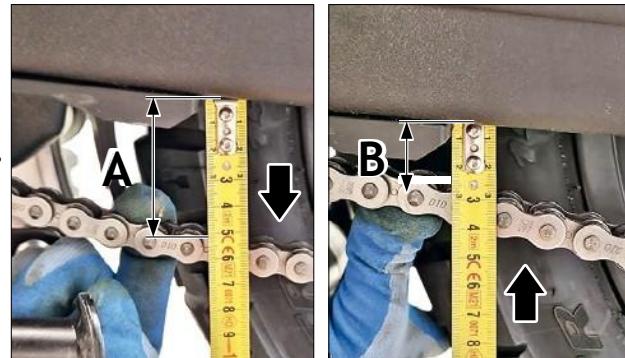
① チェーンガイドおよびチェーンスライドシューの摩耗についても点検します。

△ チェーンが緩みすぎるとスプロケットから外れ、事故や車両の重大な損傷を引き起こす可能性があります。定期的にクリアランスを点検してください。チェーンの交換については、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

△ メンテナンスが不適切だと、チェーンの摩耗時期が早まったり、スプロケットを損傷することがあります。

## クリアランス点検

- エンジンを停止します。
- 車両をサイドスタンドで支えます。
- ギアをニュートラルに入れます。
- 前後スプロケの中間点の下側のチェーンを、最初は下側に、次に上側に押し、スイングアームとチェーンの距離を測定します。最高値“A”と最低値“B”的差が約35 mmであることを確認してください。
- 車両を前進させてチェーンの垂直振動を別の箇所でも確認します。クリアランスは、ホイールを回転させた全ての箇所で一定である必要があります。



⚠ 特定の位置でチェーンのクリアランスが大きい場合、ブッシュが潰れたり固着している箇所があることを意味します。この場合、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。また、チェーンの固着を防ぐため、正しくチェーンを潤滑してください。

## 潤滑とクリーニング

チェーンは常によく潤滑しておく必要があります、特に泥や砂地のオフロード走行後はクリーニングの必要があります。乾いたり錆びた部分がある場合や、潰れたり固着したブッシュがある場合は、チェーンを潤滑し、損傷した部品を良品と交換することを推奨します。それができない場合は、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

⚠ 高圧洗浄機、スチーム、高圧エアダスター、および可燃性の高い溶剤でチェーンを洗浄しないでください。

① チェーンに推奨される潤滑剤および洗浄剤については、「推奨製品」の項を参照してください。

# メンテナンス

## バッテリー

バッテリー“A”はサドルの下にあります。このバッテリーは、電解液レベルの点検や電解液の補水を行う必要はありません。

- ① バッテリー端子は清潔に保ち、必要に応じて無酸性グリースで軽く潤滑してください。

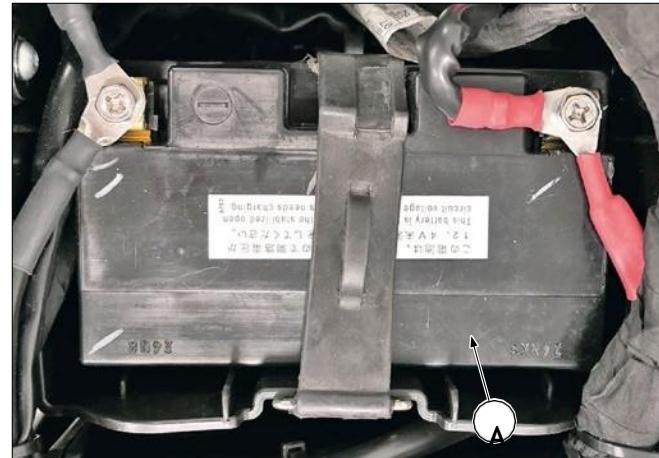
## バッテリーの取外し

シートを取り外し、バッテリーのマイナス端子の接続を外してから

プラス端子の接続を外します。

バッテリーを外します。

- ① 車両を長期間使用しない場合は、バッテリーを適切な充電器に接続するか、15日ごとに完全充電サイクルを実行することを推奨します。



バッテリーを取り付ける際は、図のようにプラス端子を差し込み、次にマイナス端子を接続してください。

△ 何らかの理由により電解液（硫酸）がバッテリーから漏れている場合は、最大限の注意を払ってください。

△ 火花や裸火をバッテリーに近づけないでください。

△ 消耗したバッテリーは子供の手の届かない場所に保管し、定期的に破棄してください。

△ プロテクションは外さず、バッテリーは極性を正しく守って取付けてください。

△ バッテリークランプはワセリンで保護してください。

## ヒューズとリレー

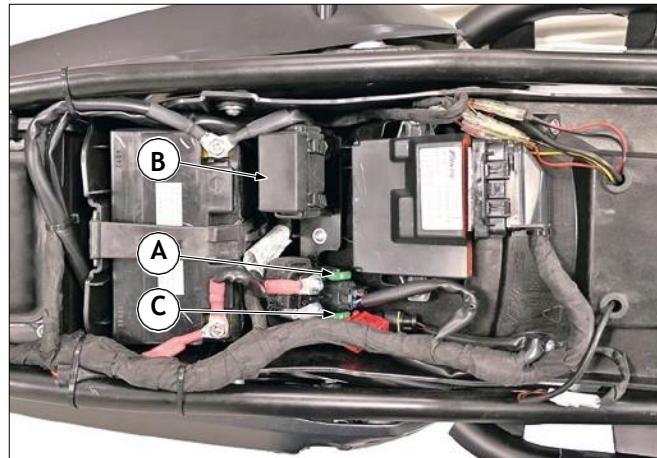
ヒューズの確認時は短絡をふせぐため、イグニッションスイッチを“OFF”にします。

シートヒューズボックスカバーを取り外します。

1回につき1つのヒューズを取り外し、フィラメントが破損していないか確認します。

ダメージがあればヒューズを同アンペアのものと交換します。

**△ ヒューズは修理しないでください。また、定格と異なる出力のヒューズを使用しないでください。短絡して火災発生の原因となる恐れがあります。**



## ヒューズ位置

A. メインヒューズ (30 A)

B. ヒューズボックス

1. エンジンコントロールユニットヒューズ (キー操作電源)  
ABSコントロールユニット (キー操作電源)、左右ライト、ウインカー、ポジションライト、ブレーキライト用ヒューズ (5 A)

2. パーキングライトヒューズ (5 A)

3. EFIシステムヒューズ (10 A)

4. ヘッドライト、テールライトヒューズ (5 A)

5. クーリングファンヒューズ (7.5 A)

6. エンジンコントロールユニットヒューズ (直接供給) (5 A)

7. ABSコントロールユニットヒューズ (直接供給) (30 A)

C. スペアメインヒューズ (30 A)

D. スペアヒューズ (5 A, 7.5 A, 30 A)



# メンテナンス

## ライトとウインカー

⚠ ヘッドライト、テールライト、ライセンスプレートライトの分解、点検および／または交換の際は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

### ヘッドライトの調整

フロントライトの照射方向が適切か確認するには、垂直壁から10メートル離れた水平な場所に車両を駐車します。乗車した状態でロービームのスイッチを入れ、壁に照射されているビームがプロジェクターの水平ラインより僅かに下（全高の9/10程度）に位置していることを確認します。ライトの縦位置の調整を行うには、車両を走行ポジションで固定し、両側のボルト“A”と“B”を緩め、手動で希望の位置に調整します。ボルト“A”と“B”を締め付け、再度ライト照射の正しい方向を確認します。

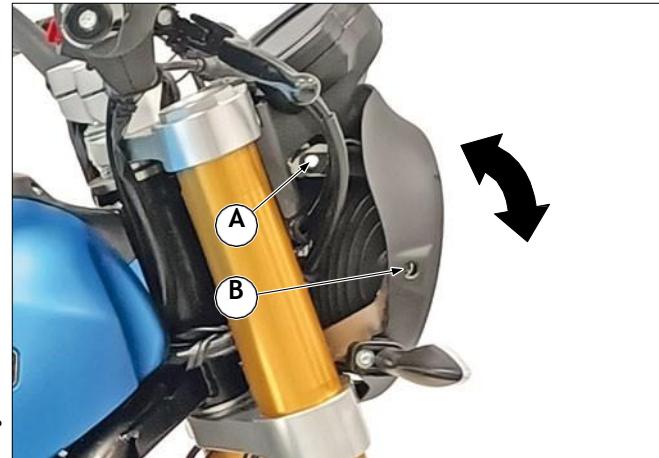
### ウインカー

フロントおよびリアのウインカーのランプを交換するには、車両を再度スタンドで支えます。ボルト“A”を緩めてカバー“B”を外します。

バルブをやさしく押して反時計方向に回してランプを外します。同タイプの新しいランプを取付けます。

① 内側のリフレクターがシートから外れている場合は、正しい位置に戻します。

⚠ ランプが正しく取付けられていることを確認してください。



## リヤビューミラー

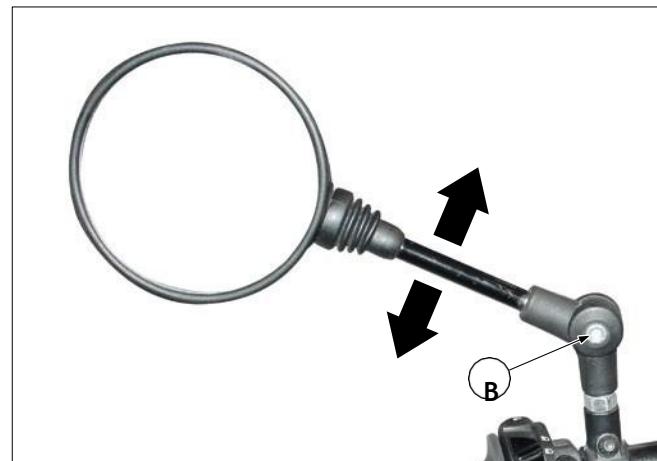
- ① 以下に記載されている説明は、両方のリヤビューミラーに適用されます。

水平で安定した平面上で、車両をサイドスタンドで支えます。ロックナット“A”を緩め、左側のミラーは反時計方向、右側のミラーは時計方向に回転させて取外します。

- ① 組み立て時、ナットの締め付け前にミラーのサポートロッドがハンドルバーと合っていることを確認します。

## リヤビューミラーの調整

リヤビューミラーを調整するには、走行位置で乗車し、必要に応じてリヤビューミラーを回します。リヤビューミラーサポートロッドの傾きを調整することもできます。その際は、ボルト“B”を緩めて、サポートロッドを斜めに動かします。調整したら、ボルト“B”を締め付けます。



# メンテナンステーブル

---

## 定期メンテナンステーブル

メンテナンス作業には専用ツールや技術的な準備を必要とする作業もありますが、通常は熟練したユーザーであれば実施することができます。

⚠ 必要な専用ツール、適切な衣服、保護具、および安全に作業する場所が無い場合、メンテナンス作業は推奨されません。技術的なアドバイスや整備作業が必要な場合は、Fantic Motor正規販売店へお問い合わせください。

⚠ Fantic Motorは、ユーザーが行ったメンテナンス作業により発生した車両、所有物、および/または人への損害に対する民事および刑事責任を一切負いません。

⚠ ユーザー自身で定期点検作業を実施するつもりが無い場合は、Fantic Motor正規販売店に依頼いただくことを推奨します。

⚠ 雨天時や、埃っぽい地域、悪路での走行、高速走行で使用する場合は、より頻繁にメンテナンスを行ってください。

⚠ 走行距離 1,000 km 毎にエンジンオイルレベルを点検してください。

⚠ 走行距離が1000kmに達していなくても、車両の使用開始後、最初の1年が終わるまでに、必ず初回点検と整備を実施してください。

⚠ 指定期日に達していなくても、車両の使用の2年目の終わりまでに点検と整備を行うことが不可欠です。

① 保証を適用するには、所定の点検とサービスを適時に実施する必要があります。  
(1年目の初回点検と2年目点検)

① 事前に所定の点検走行距離に達していない限り、定期的に年次検査を実行してください。

# メンテナンスステーブル

項目	作業	1.000 km (600 mi)	10.000 km (6.000 mi)	20.000 km (12.000 mi)	30.000 km (18.000 mi)	毎年
燃料路	- フューエルホースにダメージが無いか確認		✓	✓	✓	✓
スパークプラグ	- 状態を確認					
	- 清掃と電極クリアランスをリセット		✓		✓	
	- 交換			✓		
バルブ	- バルブクリアランスを確認 - 調整			40.000 km 毎		
インジェクションシステム	- 同期を調整	✓	✓	✓	✓	✓
エアフィルター	- 清掃					✓
	- 交換		✓	✓	✓	
エアボックスの通路	- 清掃	✓	✓	✓	✓	
クラッチ	- 作動状態を確認					
	- 調整	✓	✓	✓	✓	
フロントブレーキ	- 作動状態、フルードレベル、リーク箇所の有無を確認	✓	✓	✓	✓	✓
	- ブレーキパッド交換					
リアブレーキ	摩擦限度を超えた場合					
	- 作動状態、フルードレベル、リーク箇所の有無を確認	✓	✓	✓	✓	✓
	- ブレーキパッド交換					
ブレーキホース	摩擦限度を超えた場合					
	- ひび割れやダメージが無いか確認		✓	✓	✓	✓
	- 取付けと締付けが適切か確認					
ブレーキフルード	- 交換			4年毎		
	- 交換			2年毎		
ホイール	- アライメントの狂いやダメージの確認		✓	✓	✓	

# メンテナンステーブル

項目	作業	1.000 km (600 mi)	10.000 km (6.000 mi)	20.000 km (12.000 mi)	30.000 km (18.000 mi)	毎年
タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 溝の深さとダメージの確認</li> <li>- 必要に応じて交換</li> <li>- 空気圧の確認</li> <li>- 必要に応じて修正</li> </ul>		✓	✓	✓	✓
ホイールベアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ベアリングの緩み、損傷の確認</li> </ul>		✓	✓	✓	
スイングアーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 作動状態と、摩耗を確認</li> </ul>		✓	✓	✓	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- リチウム石鹼グリースでの潤滑</li> </ul>	<b>30000 km毎</b>				
ドライブチェーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ドライブチェーンテンション、アライメント、状態を確認。</li> <li>- 前後スプロケットの確認</li> <li>- ハブダンパーのクリアランスを確認</li> <li>- 全体の調整を行い、指定の潤滑剤でドライブチェーンを潤滑</li> </ul>	<b>1000 km毎</b> 頻繁に使用した後				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 交換</li> </ul>	<b>チェーンの伸び率が2%を超える場合、 前後スプロケットと共に交換を推奨</b>				
ステアリングベアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ベアリングのクリアランスと、ハンドルバーの動作を確認</li> </ul>	✓	✓	✓	✓	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- リチウム石鹼グリースで潤滑</li> </ul>	<b>20000 km毎</b>				
固定ボルト類	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 全てのボルト、ナット、ネジが適切に締められていることを確認</li> </ul>		✓	✓	✓	✓
ブレーキレバーピン	<ul style="list-style-type: none"> <li>- シリコングリースで潤滑</li> </ul>		✓	✓	✓	✓

項目	作業	1.000 km (600 mi)	10.000 km (6.000 mi)	20.000 km (12.000 mi)	30.000 km (18.000 mi)	毎年
ブレーキペダルピン	– リチウム石鹼グリスで潤滑		✓	✓	✓	✓
クラッチレバーピン	– リチウム石鹼グリスで潤滑		✓	✓	✓	✓
ギアシフトレバーピン	– リチウム石鹼グリスで潤滑		✓	✓	✓	✓
サイドスタンド	– 作動状態を確認 – リチウム石鹼グリスで潤滑		✓	✓	✓	✓
サイドスタンドスイッチ	– 作動状態を確認	✓	✓	✓	✓	✓
フォーク	– 作動状態を確認し、オイル漏れの有無を確認		✓	✓	✓	
	– フォークオイル交換	<b>20000 km 毎</b>				
ショックアブソーバーユニット	– 作動状態を確認し、オイル漏れの有無を確認		✓	✓	✓	
スイングアームと リンクピボット	– スイングアームの作動状態を確認 – リンクの作動状態を確認 – ピボット部の潤滑		✓	✓	✓	
	– リチウム石鹼グリスで潤滑			✓		
パッセンジャー・フットペグ	– 潤滑		✓	✓	✓	✓
エンジンオイル	– オイルレベルの確認し、オイル漏れを確認	<b>1000 km 毎</b>				
	– Replace.	✓	✓	✓	✓	✓
エンジンオイルフィルター	– Replace.	✓	✓	✓	✓	✓

# メンテナンステーブル

項目	作業	1.000 km (600 mi)	10.000 km (6.000 mi)	20.000 km (12.000 mi)	30.000 km (18.000 mi)	毎年
クリーリングシステム	– クーラントレベルを確認し、クーラント漏れがないか確認		✓	✓	✓	✓
	– クーラント液の交換		<b>3年毎</b>			
ブレーキスイッチ	– 作動状態を確認	✓	✓	✓	✓	✓
可動部品とケーブル類	– 潤滑	✓	✓	✓	✓	✓
スロットルコントロール	– 作動状態を確認 – クリアランスの確認と調整 – ケーブルとグリップの潤滑		✓	✓	✓	✓
ライト、ウインカー、スイッチ類	– 作動状態を確認 – 光軸を調整	✓	✓	✓	✓	✓

## 推奨製品

- ① 潤滑剤および油脂製品は、規定されている仕様と同等か、同等以上の品質のものを使用してください。  
補充、充填する際も同様です。

製品	特性	備考
4ストrokeエンジンオイル	SAE 10W40, API 規格SG、JASO 規格MA か、それ以上のグレード	ミネラルオイルは使用しないでください
ペアリング、ジョイント、ピボット、レバー用グリース	リチウムグリース	
クーラント	有機添加物を含むエチレングリコールベースの不凍液	水で希釈しないこと
フォークオイル	クッションオイルオイル ISO HV 32	
ドライブチェーン潤滑剤	シールチェーン用スプレーグリース	
ブレーキオイル	Dot 4 ブレーキフルード	
電子コネクター用クリーナー	コンタクトクリーナー	
燃料	95 – 98 オクタン値の無鉛ガソリン	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">PETROL FUEL TYPE</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">E5</div> <div style="text-align: center;">E10</div> </div> </div>
ハウジングおよびエンジンカバーカプリング用ペースト	Three Bond N. 1215®	
ネジの緩み止め剤（中強度）	ミディアムスレッドロッカー	

## メンテナンステーブル

製品	特性	備考
ネジの緩み止め剤（高強度）	ストロングスレッドロッカー	
ボルト外し用潤滑剤	緩め止めロック剤を除去	
締付けトルク用潤滑剤	一般的なエンジンオイル	
ラバーシールおよび部品用潤滑剤	リチウム石鹼ベースのグリース	
バッテリー端子	ホワイトワセリンググリース	
洗車	常温の低圧水と環境に配慮した 自然由来の液体石鹼	刺激の強い洗浄は避ける。イグニッショニーキーが差し込まれていない状態で洗車してください
ブレーキシステムとシートの清掃	スプレー ブレーキクリーナー	ブレーキパッドおよび樹脂素材部品の クリーニングには使用しないこと

テクニカルデータ	
全長	2164 mm
全幅	890 mm
全高	1136 mm
ホイールベース	1453 mm
車両重量	185 kg
最大積載重量(車両、ライダー、パッセンジャー、荷物)	380 kg
エンジンタイプ	4ストローク 2気筒
シリンダー数	2
総排気量	689 cc
ボア／ストローク	80 mm/68.6 mm
圧縮比	11.5 : 1
始動方法	Electric
アイドリング回転数	1250-1450 rpm
クラッチ	オイルバス・マルチディスク ハンドルバーの左側で制御
潤滑システム	オイルバス式ケーシングトロコイドポンプ制御による圧力システム
冷却システム	水冷
クーラント	1.6 L
ギアボックス	6速 エンジン左側のペダルで制御

# テクニカルデータ

テクニカルデータ	
減速比	プライマリートラנסミッション : 1.925 1速ギア比 : 2.846 2速ギア比 : 2.125 3速ギア比 : 1.632 4速ギア比 : 1.300 5速ギア比 : 1.091 6速ギア比 : 0.964 2次減速比 : 45 / 16
ドライブチェーン	525 DID, 112 links
エアフィルター	ペーパー
燃料タンク容量（予備量を含む）	13.5 L
予備容量	2.5 L
エンジンオイル	容量（分解時） : 3.0 L オイルフィルター交換無し : 2.3 L オイルフィルター交換あり : 2.6 L
シート	2
最大許容積載量（ライダー、パッセンジャー、荷物）	195 kg
フューエルシステム	EFI / 38 mm スロットルボディ
燃料	95-98 オクタン値の無鉛ガソリン
フレーム	クロームモリブデン鋼 シングルビームフレーム
スイングアーム	リンク式サスペンション取付け部を有するアルミ製スイングアーム
サスペンションアングル（サスペンションが伸びた状態）	25.5°
ステアリングアングル（両側）	35° ± 3°

テクニカルデータ	
フロントサスペンション	倒立フォーク ø45 ストローク150 mm
リアサスペンション	プリロード調整可能なリンク式モノショックアブソーバー ストローク 60.8 ± 2 mm
フロントブレーキ	4ピストンキャリパー 330 mm フローティングディスク
リアブレーキ	1ピストンフローティングキャリパー 245 mm ディスク
リム／ホイール	アルミニウム・スポーツホイール (チューブタイプ) フロントタイヤ : 110/80-19 2.50 x 19" リアタイヤ : 150/70-17 4.25 x 17" タイヤ空気圧 フロント : 2.2 bar (220 kPa ± 10) (31.90 PSI) リア : 2.2 bar (220 kPa ± 10) (31.90 PSI)
アルミニウム	コーナーリングABS機能と、キャンセル機能を備えた 2チャンネルABS システム
スパークプラグ	NGK-LMAR8A-9
バッテリー	12 V - 11.8 Ah
ヒューズ	メインヒューズ : 30A セカンダリーヒューズ : 30A/10A/7.5A/5A/2 <sup>a</sup>
ジェネレータ	14.0 V, 29.3 A at 5000 r/min
ウインカー	Led
ハイ／ロービーム	Led
ポジションライト／ブレーキライト	Led

## テクニカルデータ

テクニカルデータ	
ライセンスプレートライト	Led
ABS 警告灯	ディスプレイに表示
燃料残量警告表示灯	ディスプレイに表示
方向指示器表示灯	ディスプレイに表示
ニュートラル表示灯	ディスプレイに表示
オイルプレッシャー警告灯	ディスプレイに表示
エンジン警告灯	ディスプレイに表示
ハイビームライト表示灯	ディスプレイに表示

**適合宣言**  
EU 適合 2014/53/EU



**EU適合宣言（簡略版）：**

あなたの車両にはさまざまな無線機器が装備されています。この無線機器の製造元は、法律で義務付けられている場合、これらの機器が指令2014/53/EUに準拠していることを宣言します。

EU 適合宣言の全文は、次の Web アドレスで入手できます: [www.Fantic.com/RED](http://www.Fantic.com/RED)

**無線部品メーカーの所在：**

すべての無線コンポーネントには、指令 2014/53/EU の規定に従ってメーカーのアドレスが記載されている必要があります。サイズや性質上、ステッカーを貼ることができないコンポーネントについては、法律で義務付けられている各メーカーの住所を表2に示します。

TAB.1

<b>RADIO DEVICE INSTALLED ON THE VEHICLE</b>	<b>FREQUENCY BAND</b>	<b>RADIO TRASMISSION MAX POWER</b>
<b>DISPLAY – RX6 Meters</b>		
Bluetooth	2400-2480MHz	+10.29dBm
<b>RFID KEY interface</b>		
RFID	125 kHz (119÷127 kHz)	< 66dBuA/m @10m

# 宣言

---

TAB.2

<b>RADIO DEVICE INSTALLED ON THE VEHICLE</b>	<b>IMPORTER</b>
DISPLAY – RX6 Meters	Tong Yah Electronic Technology Co., Ltd. No.406 Ding-Ann St, Annan District, Tainan, 70944 - Taiwan R.O.C.
RFID KEY interface	EFI Technology: via della corte, 6/b, 40012 Caldera di Reno, Bologna - Italy



注記 :

熟練した技術者のみがデバイスにアクセスして取付けることができます。